

教 育 総 務 課

○ 総務係関係

1 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
教育長	岡 俊晴	令和4年4月1日 ～令和7年3月31日	
教育長 職務代理者	中西 康裕	令和2年12月23日 ～令和6年12月22日	職務代理者就任 令和5年12月23日
委 員	駒田 聡子	令和2年11月1日 ～令和6年10月31日	
委 員	畑井 祐樹	令和3年12月23日 ～令和7年12月22日	
委 員	中村 文大	令和4年12月25日 ～令和8年12月24日	
委 員	右京 博巳	令和5年12月23日 ～令和9年12月22日	

2 教育委員会の会議

(1) 委員会開催状況

開 会 日 数	委員出席日数	議案及び 協議件数	処 理 状 況	
			可 決	否 決
委 員 会	12日	12日	44件	0件
協 議 会	12日	12日	—	—

(2) 委員会審議事項

第1回（令和5年4月18日）

- 学校運営協議会委員の任命について

第2回（令和5年5月22日）

- 校務用コンピュータ機器（ノートパソコン）の取得について
- 外国語指導助手の勤務条件等に関する規則の一部改正について
- 伊勢市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
- 伊勢市スポーツ推進審議会委員の任命について

第3回（令和5年6月8日）

- 令和5年度教育関係補正予算（第4号）について
- 令和5年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書について
- 伊勢市社会教育委員兼伊勢市立公民館運営審議会委員の辞任の承認及び補欠委員の委嘱について
- 図書館協議会委員の任命について
- 伊勢市立図書館指定管理者選定委員会委員の委嘱について
- 伊勢市生涯学習センター指定管理者選定委員会委員の委嘱について

第4回（令和5年7月25日）

- 令和6年度使用小学校用教科用図書の採択について
- 奨学生の決定について

第5回（令和5年8月18日）

- 奨学生の決定について

第6回（令和5年9月21日）

- 奨学生の決定について

臨時（令和5年9月21日 臨時代理）

- 職員の異動について

第7回（令和5年10月26日）

- 奨学生の取消しについて
- 奨学生の決定について

第8回（令和5年11月22日）

- 令和5年度教育関係補正予算（第7号）について
- 奨学生の決定について
- 伊勢市生涯学習センターの指定管理者の指定について
- 伊勢市立図書館の指定管理者の指定について
- 図書館協議会委員の任命について

臨時（令和5年11月30日 回付）

- 令和6年度伊勢市立小中学校教職員の人事異動方針について

第9回（令和5年12月21日）

- 外国語指導助手の勤務条件等に関する規則の一部改正について
- 奨学生の決定について
- 伊勢市立図書館システム更新業務受託者選定委員会規則の制定について

臨時（令和5年12月23日 回付）

- 伊勢市奨学生選考委員会委員の辞任に伴う補欠委員の委嘱について

第10回（令和6年1月18日）

- 令和6年度学校業務員、給食調理士及び幼稚園教諭の人事異動方針について
- 奨学生の決定について

臨時（令和6年1月31日 回付）

- 令和6年度教育関係予算について
- 令和5年度教育関係補正予算（第11号）について

第11回（令和6年2月15日）

- 奨学生の決定について

臨時（令和6年3月1日 回付）

- 学校長、教頭異動内申について
- 教諭等異動内申について

臨時（令和6年3月19日 回付）

○伊勢市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

臨時（令和6年3月21日 回付）

○職員の人事異動について

○職員の任免に関する教育委員会の意見の聴取について

第12回（令和6年3月27日）

○奨学生の決定について

○令和6年度伊勢市幼稚園・小中学校教育方針について

○伊勢市教育委員会事務局等処務規則の一部改正について

○伊勢市教育委員会会計年度任用職員の任用、給与、勤務時間等に関する規則の一部改正について

○伊勢市青少年相談センター条例施行規則の一部改正について

臨時（令和6年3月31日 回付）

○伊勢市学校教職員安全衛生管理規程の一部改正について

3 スクールバス等運行関係

道路・交通事情等により通学に危険等が生じる遠距離通学等児童生徒に対してスクールバス等を運行することで、安全な通学環境を整備した。

(1) 伊勢宮川中学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
津村町地内 ほ か	伊勢市立伊勢宮川 中学校スクールバ ス運行業務委託 (令和5年度～令和 7年度)	スクールバス運行業 務	円 48,551,140 【契約単価】 1日あたり 辻久留台ルート 授業日・朝練あり 47,960 授業日・朝練なし 41,910 部活動日 28,930 津村ルート 授業日・朝練あり 67,430 授業日・朝練なし 59,180 部活動日 41,250 円座・上野ルート 授業日・朝練あり 84,260 授業日・朝練なし 66,330 部活動日 44,110	5. 4. 1	8. 3. 31

(2) 二見中学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町光の街地内ほか	伊勢市立二見中学校スクールタクシー運行業務委託	松下地区の生徒を対象としたスクールタクシー運行業務	円 497,800 【契約単価】 片道1運行あたり ～9月10日 (1)迎車料 100 (2)初乗運賃 590 (3)距離制運賃 80 (4)時間距離併用制運賃 80 9月11日～ (1)迎車料 150 (2)初乗運賃 650 (3)距離制運賃 90 (4)時間距離併用制運賃 90	5. 4. 1	6. 3. 31

(3) 二見浦小学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町光の街地内ほか	伊勢市立二見浦小学校スクールバス運行業務委託(令和5年度～令和7年度)	スクールバス運行業務	円 23,738,000 【契約単価】 1日あたり 松下・江ルート 39,490 今一色ルート 40,920 茶屋ルート 38,280	5. 4. 1	8. 3. 31
二見町今一色地内	令和5年度旧今一色小学校解錠等業務委託	旧今一色小学校の解錠・施錠	253,097 【契約単価】 業務実施時間1時間あたり 1,265	5. 4. 6	6. 3. 31
計	2件	—	23,991,097	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(4) みなと小学校

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大湊町地内	伊勢市立みなと小学校スクールバス運行業務委託(令和3年度～令和5年度)	スクールバス運行業務	円 6,019,698 【契約単価】 片道1運行あたり 4,800	3. 4. 1	6. 3. 31

小 木 町 地 内 ほ か	伊勢市立みなと小 学校スクールタク シー運行業務委託	国道23号以南の児童 を対象としたスクー ルタクシー運行業務	円 1,482,990	5. 4. 1	6. 3. 31
			【契約単価】 片道1運行あたり ～9月10日 (1)迎車料 100 (2)初乗運賃 710 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100 9月11日～ (1)迎車料 150 (2)初乗運賃 780 (3)距離制運賃 100 (4)時間距離 併用制運賃 100		
計	2件	—	7,502,688	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

4 幼稚園の状況

希望する小学校就学までの幼児に対して教育の機会を提供し、心身の発達の助長を図った。

園児数においては、108人(前年比+-0人)、学級数においては8学級(前年比-1学級)であった。

令和5年5月1日現在

区分 幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
小 俣	27 人	25 人	23 人	75 人
明 野	9	9	15	33
計	36	34	38	108

○ 学校給食係関係

1 完全給食校及び給食延べ人数

(1) 単独自校調理方式(小学校22校)

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
進 修 小学校	32,364 人	宮 山 小学校	46,128 人	上 野 小学校	16,182 人
修 道 〃	65,860	浜 郷 〃	45,880	小 俣 〃	125,800
有 緝 〃	86,118	四 郷 〃	22,940	明 野 〃	139,860
早 修 〃	21,460	豊浜東 〃	9,435	御 藪 〃	69,378
中 島 〃	45,510	豊浜西 〃	23,125	二見浦 〃	65,472
明 倫 〃	50,505	北 浜 〃	16,182	みなと 〃	49,950
厚 生 〃	54,575	東大淀 〃	13,320	計	1,061,094
佐 八 〃	8,695	城 田 〃	52,355		

(2) 共同調理場方式（中学校10校）

学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数	学 校 名	延べ人数
倉田山 中学校	76,500 人	五十鈴 中学校	52,020 人	伊勢宮川中学校	41,220 人
厚 生 〃	75,060	二 見 〃	34,380	桜 浜 〃	42,488
港 〃	36,900	小 俣 〃	116,202	計	532,860
城 田 〃	28,210	御 菌 〃	29,880		

2 給食費及び給食回数

区 分		給食費（児童・生徒1人当たり）		給食回数	
完全 給食	小学校	低学年 (1年～3年)	月額 4,300円(4～7、9～2月分) 4,360円(3月分)	年額 47,360円	185回
		高学年 (4年～6年)	月額 4,400円(4～7、9～2月分) 4,470円(3月分)	年額 48,470円	
	中学校	月額 4,800円(4～7、9～2月分) 4,740円(3月分)	年額 52,740円	180回	

3 献立について

文部科学省の学校給食摂取基準に基づき、主食は米飯週4回、パン週1回とし、地産地消を推進するとともに、児童生徒の嗜好も考慮した献立を作成した。単独自校調理方式（小学校22校）で統一献立とし、共同調理場方式（中学校10校）については単独自校調理方式の学校とは別献立で給食を実施した。

4 学校給食施設の整備

老朽化に伴う買い替え及び衛生管理上必要な備品の新規購入

品 名	納品校	メーカー・規格等	金 額
ガス回転釜	上野小学校	服部工業（株）GHS-30	円 385,000
ガス回転釜	中島小学校	服部工業（株）GHS-32 ドライ仕様	1,936,000
ガス回転釜	御菌小学校	服部工業（株）GHS-32	814,000
ガス給湯器	御菌小学校	（株）ノーリツ GQ-3210WZ-FF-3	598,000
牛乳保冷庫	修道小学校	ホシザキ（株）MR-90CA	298,100
牛乳保冷庫	北浜小学校	ホシザキ（株）MR-75CA	273,900
検食保存用冷凍庫	明野小学校	（株）ダイレイ SD-318	324,720
スチームコンベクション オーブン	御菌小学校	タニコー（株）TGSC-A10DCL	2,145,000
食器・食缶洗浄機	御菌小学校	（株）AIHO AEN2-3NUC特	4,895,000
計	9件		11,669,720

5 中学校給食施設管理経費

伊勢市中学校給食共同調理場運営のための業務委託を実施した。

委 託 名	委 託 業 者	委 託 金 額	着 手	完 了
伊勢市中学校給食共同調理場調理等業務委託	伊勢料理納入協同組合	円 105,916,800 (全体契約額 529,584,000)	4. 8. 1	9. 7. 31
伊勢市中学校給食配送業務委託	株式会社 シント物流	26,400,000 (全体契約額 132,000,000)	4. 8. 1	9. 7. 31
伊勢市中学校給食共同調理場警備業務委託	三重総合警備保障 株式会社	237,600 (全体契約額 1,188,000)	5. 4. 1	10. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場電気保安管理業務委託	一般財団法人 中部電気保安協会 伊勢営業所	640,200 (全体契約額 1,920,600)	5. 4. 1	8. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場ボイラー・ストレージタンク保守点検整備業務委託	杉山設備 株式会社	1,012,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設維持管理業務委託	東洋プラント 株式会社	2,156,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥処理業務委託	株式会社 ミヤテック	5,058,405	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場除害施設汚泥収集運搬業務委託	伊勢市清掃 株式会社	1,573,726	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場可燃ごみ等収集運搬業務委託	中南勢清掃 有限会社	566,565	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場生ごみ処理機維持管理業務委託	菱田建材 株式会社	605,000	5. 4. 1	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場芝生・植木管理業務委託	サーベバント 有限会社	1,095,600	5. 4. 26	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場空調設備保守点検業務委託	ホシザキ東海 株式会社 伊勢営業所	1,147,300	5. 6. 21	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場ばいじん量測定業務委託	株式会社 中部環境技術センター	140,800	5. 6. 22	6. 1. 17
伊勢市中学校給食共同調理場地下貯蔵タンク漏洩点検業務委託	株式会社 中部環境技術センター	66,000	5. 7. 1	5. 7. 31
伊勢市中学校給食共同調理場消防設備点検業務委託	セッツ設備	99,000	5. 7. 3	6. 3. 31

伊勢市中学校給食共同調理場 清掃業務委託	株式会社 三重フジミ	円 1,100,000	5. 7. 5	6. 3. 31
伊勢市中学校給食共同調理場 調理機器等点検業務委託	株式会社 三重特機	4,620,000	5. 7. 5	5. 8. 24
伊勢市中学校給食共同調理場 受水槽清掃業務委託	有限会社 南部塗料	49,680	5. 7. 24	5. 8. 24
伊勢市中学校給食共同調理場 冷凍・冷蔵庫保守点検業務委託	ホシザキ東海 株式会社 伊勢営業所	99,770	5. 7. 26	5. 7. 26
計	19件	152,584,446		

※合計は、各行の最上段を合算

6 伊勢市学校給食運営委員会

学校給食運営に関する事項について、調査審議を行うため、会議を3回開催し、令和6年3月28日に「伊勢市小学校給食の運営に関する意見書」が伊勢市学校給食運営委員会から教育長に提出された。

○ 物価高騰対策関係

1 幼稚園食材費負担軽減事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている私立幼稚園の給食等食材費の一部を市が支援をすることで、給食費への転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担の軽減を図った。

また、公立幼稚園の昼食費（配食サービス）の増額分について市が負担することで保護者の経済的負担の軽減を図った。

2 学校給食用食材費負担軽減事業

原油価格・物価高騰の影響を受けている学校給食用食材費の一部を市が負担することで、保護者の経済的負担の軽減を図った。

学 校 施 設 整 備 課

○ 整備統合推進係関係

1 小中学校適正規模化・適正配置推進事業

学校の小規模化による課題を解消し、本市の子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな人間性と健やかな体の育成といった「生きる力」を育むことができる、より望ましい教育環境の構築と、教育の質の充実を図る。

2 学校施設老朽化対策の推進

学校施設の多くが昭和40年代から50年代に建築され、老朽化が進んでいる。なかでも、老朽化の著しい以下の屋内運動場の改修に向けて、耐力度調査を行った。

委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
神 田 久 志 本 町 地 内	(注) 倉田山中学校屋内 運動場耐力度調査 業務委託	耐力度調査業務一 式	円 1,211,100	5. 6.23	5. 9.12
一 之 木 5 丁 目 地 内	(注) 厚生中学校屋内運 動場耐力度調査業 務委託	耐力度調査業務一 式	1,223,200	5. 6.23	5. 9.12
中 村 町 地 内	(注) 五十鈴中学校屋内 運動場耐力度調査 業務委託	耐力度調査業務一 式	1,222,100	5. 6.23	5. 9.12
計	3件	—	3,656,400	—	—

(注) 営繕課施行

○ 維持管理係関係

1 小学校管理事業

小学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、遊具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽等の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岡 本 1 丁 目 地 内	明倫小学校配膳室 空調機設置工事	配膳室空調機設置 1台	円 1,360,700	5. 4.18	5. 6. 1

一志町 地内	厚生小学校配膳室 空調機設置工事	配膳室空調機設置 1台	円 1,045,000	5. 4.26	5. 6. 9
黒瀬町 地内	浜郷小学校配膳室 空調機設置工事	配膳室空調機設置 1台	1,155,000	5. 5.15	5. 6.28
久世戸町 地内	(注1) 修道小学校屋内運 動場照明改修工事	照明設備改修一式	6,439,400	5. 6. 2	5. 8.30
常磐3丁目 地内	(注1) 早修小学校屋内運 動場照明改修工事	照明設備改修一式	8,455,700	5. 6. 2	5. 8.30
岡本1丁目 地内	(注1) 明倫小学校屋内運 動場照明改修工事	照明設備改修一式	6,051,100	5. 6. 2	5. 8.30
御菌町長屋 地内	(注1) 御菌小学校屋内運 動場照明改修工事	照明設備改修一式	10,747,000	5. 6. 2	5. 8.30
楠部町 地内	(注1) 四郷小学校消火栓 ポンプ更新工事	消火栓ポンプ更新 一式	2,750,000	5. 6. 9	5.11. 2
上野町 地内	(注1) 上野小学校多目的 トイレほか改修工 事	トイレ改修一式	4,640,900	5. 6. 9	5. 9. 6
上地町 地内	(注1) 城田小学校排水管 改修工事	排水管改修一式	5,029,200	5. 7. 7	5. 9. 4
旭地町 地内	(注2) 宮山小学校フェン ス改修工事	フェンス改修 41m 張コンクリート 12㎡	1,287,000	5. 7.10	5. 9. 7
西豊浜町 地内	(注1) (注3) 豊浜西小学校外壁 等改修工事	建築工事一式	34,997,600 【契約額】 36,144,900 [学校施設整備課] 34,997,600 [防災施設整備課] 1,147,300	5. 7.14	5.10.31
小俣町元町 地内	小俣小学校給食室 換気扇設置工事	換気扇設置一式	1,265,000	5. 7.18	5. 8.16
御菌町長屋 地内	御菌小学校屋上配 管改修工事	配管改修一式	1,265,000	5. 7.24	5. 8.22

村地	松町内	(注4) 北浜小学校滑り台 更新工事	遊具組立設置工 1基	円 1,477,300	5. 7. 28	5. 9. 8
小俣町元地	町内	小俣小学校第2音 楽室屋上防水改修 工事	防水改修一式	1,265,000	5. 8. 28	5. 10. 11
一地	志町内	(注1) 厚生小学校外壁防 水改修工事	防水改修一式	5,484,600	5. 11. 6	6. 2. 2
上地	野町内	(注4) 上野小学校ブラン コ更新工事	遊具組立設置工 1基	2,134,000	5. 11. 6	6. 2. 14
小俣町明野地	町内	(注4) 明野小学校ブラン コ更新工事	遊具組立設置工 1基	2,715,900	5. 11. 6	6. 2. 7
久世戸地	町内	(注1) 修道小学校屋外階 段塗装改修工事	塗装改修一式	2,021,800	5. 11. 10	6. 1. 5
上地	地町内	(注1) 城田小学校屋外階 段塗装改修工事	塗装改修一式	3,215,300	5. 11. 10	6. 1. 5
上地	野町内	上野小学校配膳棚 改修工事	配膳棚改修一式	1,067,000	5. 11. 17	6. 1. 15
東豊浜地	町内	豊浜東小学校トイ レ改修工事	トイレ改修一式	1,078,000	5. 11. 21	6. 1. 19
村地	松町内	北浜小学校トイレ 改修工事	トイレ改修一式	1,056,000	5. 11. 21	6. 1. 19
黒瀬町内ほか	町内	(注5) 浜郷小学校ほかブ ランコ更新工事	遊具組立設置工 2基	3,850,000	5. 11. 24	6. 3. 1
御菌町長屋地	町内	御菌小学校音楽室 床改修工事	内装改修一式	1,072,500	5. 11. 27	5. 12. 22
楠部町地	町内	四郷小学校音楽室 床改修工事	内装改修一式	1,036,200	5. 11. 27	6. 1. 10
御菌町長屋地	町内	御菌小学校給食室 空調機取替工事	空調機取替一式	1,276,000	5. 11. 27	6. 1. 10
楠部町地	町内	四郷小学校浄化槽 ブロワモーター取 替工事	ブロワモーター取 替一式	1,023,000	5. 12. 8	6. 2. 5

西豊浜町地	(注1) 豊浜西小学校トイレ改修工事	トイレ改修一式	円 1,752,300	5.12.8	6.1.30
東大淀町地	(注1) 東大淀小学校トイレ改修工事	トイレ改修一式	1,444,300	5.12.8	6.2.2
岡本1丁目地	(注4) 明倫小学校校舎前テラス改修工事	隔壁工 一式 舗装工 28㎡	1,265,000	5.12.8	6.1.25
旭地	(注2) 宮山小学校水路フェンス改修工事	フェンス撤去 23m フェンス設置 22m	1,100,000	5.12.15	6.2.19
小俣町明野地	(注1) 明野小学校職員トイレ改修工事	トイレ改修一式	1,406,900	5.12.22	6.1.24
岡本1丁目地	(注4) 明倫小学校校舎前舗装工事	舗装工 111㎡	1,210,000	5.12.25	6.1.25
旭地	(注6) 宮山小学校側溝蓋設置工事	側溝蓋設置 80m	1,184,700	6.1.12	6.2.29
〃	(注6) 宮山小学校法面防草対策工事	法面工 70㎡	1,287,000	6.1.12	6.3.22
二俣1丁目地	中島小学校受電設備改修工事	受電設備改修一式	1,001,000	6.1.16	6.3.6
大湊町地	みなと小学校通用口ドア改修工事	アルミ製建具改修一式	1,295,800	6.2.2	6.3.19
計	39件	—	129,208,200	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 農林水産課施行

(注3) 防災施設整備課より執行委任

(注4) 基盤整備課施行

(注5) 下水道施設管理課施行

(注6) 維持課施行

※合計は、各行の最上段を合算

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を300件実施した。

2 中学校管理事業

中学校施設の維持管理に必要な自動火災報知機、エレベーター、体育用具等の保守点検業務、受水槽及び高置水槽等の清掃業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
二見町 光の街地内	(注1) 二見中学校防球ネット設置工事	防球ネット設置工 9m	円 1,276,000	5. 5.19	5. 6. 6
磯地 町内	(注1) 御菌中学校テニスコートフェンス改修工事	ネットフェンス金網張替 31m ネットフェンス門扉設置 3基	4,576,000	5.10. 6	5.12.28
一之木 5丁目地内	(注2) 厚生中学校運動場陸上トラックライン張替工事	ラインテープ設置工 1,154m	1,210,000	5.11.27	6. 1.25
小俣町相合 地内	(注3) 小俣中学校第二グラウンド防球ネット張替工事	防球ネット張り工一式	3,533,200	5.12.22	6. 3.13
〃	小俣中学校外壁等修繕工事	外壁塗装一式	1,265,000	6. 1.16	6. 2.29
〃	小俣中学校職員男子トイレ改修工事	トイレ改修一式	1,210,000	6. 2.19	6. 3.28
〃	小俣中学校トイレ換気扇取替工事	換気扇取替 16台	1,034,000	6. 2.27	6. 3.25
神田 久志本町 地内	倉田山中学校照明設備改修工事	照明設備改修一式	1,199,000	6. 3.12	6. 3.25
計	8件	—	15,303,200	—	—

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 下水道建設課施行

(注3) 都市計画課施行

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を145件実施した。

3 幼稚園管理事業

幼稚園施設の維持管理に必要な自動火災報知機、遊具等の保守点検業務、樹木の剪定業務のほか、施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等のため、次の事業を実施した。

工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
小俣町明野 地内	(注) 明野幼稚園滑り台設置工事	遊具組立設置工 1基	円 1,139,600	5. 6.19	5. 8.24

(注) 基盤整備課施行

・上記掲載のほか100万円未満の修繕及び工事を7件実施した。

学 校 教 育 課

○ 学校教育関係

1 児童生徒数及び学級数（令和5年5月1日現在）

児童生徒数においては、小学校で5,726人(前年比-149人)、中学校で2,945人(前年比-109人)、学級数においては、小学校で281学級(前年比-9学級)、中学校で114学級(前年比-5学級)であった。

小学校児童数の最多は明野小の756人で、最少は佐八小の47人であり、学級数の最多は明野小の30学級、最少は佐八小、豊浜東小の5学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は10校、19学級以上は3校、11学級以下は9校であった。

中学校生徒数の最多は小俣中の642人で、最少は城田中の155人であり、学級数の最多は小俣中の23学級で最少は城田中、二見中、御菌中の7学級であった。また、12学級以上18学級以下の学校は2校、19学級以上は1校、11学級以下は7校であった。

(1) 小学校

令和5年5月1日現在

区分 学校名	児童数	学級数			区分 学校名	児童数	学級数		
		通常	特別支援	計			通常	特別支援	計
進修	人 174	学級 6	学級 1	学級 7	豊浜東	人 51	学級 5	学級 0	学級 5
修道	356	12	3	15	豊浜西	125	6	1	7
有緝	463	16	3	19	北浜	87	6	1	7
早修	116	6	1	7	東大淀	72	6	1	7
中島	246	11	2	13	城田	283	12	2	14
明倫	273	12	2	14	上野	87	6	1	7
厚生	295	12	3	15	小俣	680	23	7	30
佐八	47	4	1	5	明野	756	25	5	30
宮山	248	11	1	12	御菌	373	14	4	18
浜郷	248	11	2	13	二見浦	352	12	3	15
四郷	124	6	2	8	みなと	270	11	2	13
					計	5,726	233	48	281

(2) 中学校

令和5年5月1日現在

区分 学校名	生徒数	学級数		
		通常	特別支援	計
倉田山	人 425	学級 14	学級 1	学級 15
厚生	417	13	4	17
港	205	7	1	8
城田	155	6	1	7

	人	学級	学級	学級
五十鈴	289	9	2	11
二見	191	6	1	7
小俣	642	20	3	23
御薊	166	6	1	7
伊勢宮川	229	8	1	9
桜浜	226	9	1	10
計	2,945	98	16	114

2 学校の指定

「伊勢市立の小学校及び中学校の就学すべき学校の指定に関する規則」に基づき、入学する小学校、中学校の就学校を指定した。

(1) 就学指定校変更許可

令和6年3月31日現在

区 分	学区外通学		区域外就学	
	小学校	中学校	小学校	中学校
地理的条件	人 25	人 19	人 2	人
留守家庭	27	4	3	3
住宅建築中	2		2	
転居予定	2	2		
途中転居	139	43	13	10
健康上の理由				
教育上の配慮	下記以外			
	兄弟姉妹の通学	3		
特殊事情			3	3
計	198	72	23	16

(2) 児童・生徒の異動

令和6年3月31日現在

区 分	令和5年4月 入 学 者	令和6年3月 卒 業 者	途中転入等	途中転出等
			※伊勢市内の転校を含む。	
小 学 校	人 842	人 1,040	人 33	人 68
中 学 校	963	950	9	17
計	1,805	1,990	42	85

3 教職員等（令和5年5月1日現在）

(1) 教職員数

教員（基準＋加配）は小学校327人、中学校は183人。小学校にのべ34人で306時間分、中学校にのべ18人で162時間分の非常勤講師が県から配置され、少人数指導などに活用した。

(2) スクールカウンセラー

スクールカウンセラーは、県から全小中学校に配置され、あわせて市からも小俣小、明野小、小俣中、厚生中に派遣し、児童生徒・教職員及び保護者のカウンセリングを行った。

4 学校行事の概要（令和5年度）

儀式的行事、学芸的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事などを行い、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行った。

実施月日	行 事	実施月日	行 事
4/6, 7, 8, 10	小中学校始業式・入学式	9月	中学校体育祭 2校
4/11	幼稚園入園式	9月～11月	小中学校社会見学
4月下旬～6月	中学校修学旅行 10校 (2泊3日)	10月～12月	小学校修学旅行 21校 (1泊2日)
4月～5月	小中学校遠足・社会見学	10月～1月	小中学校文化祭・作品展
5月～6月	小学校運動会 10校	12/2, 3, 5	教育美術展
5月～6月	中学校体育祭 8校	12/22	2学期終業式
6/7, 8	小学校修学旅行 1校 (1泊2日)	1/9	3学期始業式
7/20, 21, 24	1学期終業式	3/7	中学校卒業式
8/29, 30, 31, 9/1	2学期始業式	3/19	小学校卒業式
9/9, 10	科学創作展	3/21	幼稚園卒園式
9月～11月	小学校運動会（体育発表会 等を含む） 12校	3/19～3/25	小中学校修了式

5 主な事業

(1) 学校教育支援事業

地域人材や学生を、学習支援員・看護師・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアとして活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行い、特別支援教育の充実や確かな学力の定着、安全で安心な教育環境づくりに取り組むことができた。

ア 特別支援教育の充実のため、市雇用で特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行う学習支援員や医療的ケアを行う看護師を配置し、個に応じたきめ細かな教育体制づくりを推進した。

イ 教育支援ボランティアを配置し、児童生徒の学習支援や日本語の指導、図書館運営、部活動などの支援を行い、教育活動の充実を図った。

ウ 地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の見守りを行い、子どもたちの安全確保を図った。

配置及び活動状況は次のとおり。

- ・学習支援員・看護師（令和6年3月31日現在）
小学校22校 75人（うち看護師4人）

中学校10校 16人

- ・教育支援、学校安全ボランティア ※登録者数（令和6年3月31日現在）

教育支援 167人

学校安全 570人（小学校22校：各校区で随時活動）

- ・教育支援ボランティア活動数（令和6年3月31日現在。有償、無償すべて含む。）

活動人数 150人（学習支援97人、部活動支援26人、学校図書館支援13人、日本語支援6人、保育活動補助4人、養護教諭・栄養教諭の支援3人、心の支援1人）

活動回数 4,306回（令和5年4月～令和6年3月）

（2）豊かな心を育む体験交流活動推進事業

自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童生徒が自然を大切にする心や他を思いやる優しさ等、豊かな心を育むことを目的とする取組を支援した。

また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通じた体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるよう支援した。

ア 「社会参画力向上推進事業委託」の実施

自然や環境、文化や福祉、ボランティア等に関する体験学習の実施、また、地域の方とのふれあいを通じた体験活動の実施をする事業推進校（園）を指定して取り組んだ。

イ 「きらり自然体験活動推進事業委託」の実施

校外での自然体験活動、または、学校へ講師を招聘しての自然体験活動・環境学習等を実施する事業推進校（園）を指定して取り組んだ。

ウ ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム

学校教育課が計画した自然体験プログラムを小学校10校で実施し、児童が自然や環境に興味関心をもち、学習する機会とした。

エ いのちの学習の実施

中学校1校において、あかちゃんとその保護者とのふれあい体験を含むいのちの学習、中学校9校において、思春期保健相談士等からいのちについての講話を実施した。小さな子どもや家庭について知り、他者への関心を持ち、共感能力を高める機会とした。

（3）未来へチャレンジ！職場体験推進事業

キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施している。令和5年度は、9校で予定どおり実施することができた。新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスの学級閉鎖により実施できなかった学校については、事業所訪問での打ち合わせ内容の事後指導と進路学習をおこなった。

地元企業団体で作るビジネスパーク伊勢のメンバーを招き、対面にて講演を聞いたり体験

をしたりすることで、生徒たちは地元企業の仕事について考えることができた。また、講師を招聘またはオンラインでつなぎ、仕事の体験談を聞く機会を設けたりした。生徒が職業インタビューをして個人新聞を作り冊子の作成をする取組など、各校で工夫し実施をした。

(4) 学力向上推進事業

目標基準準拠検査（C R T）を市立全小中学校で実施し、検査結果から児童生徒の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、学力向上推進に係る実践的研究を展開した。

目標基準準拠検査は、小学校2～6年生を対象に国語・算数、中学校1年生対象に国語・数学、中学校2年生対象に国語・数学・英語を実施し、結果を分析し、指導に生かした。

また、小学校1年生については、伊勢市教育委員会作成の学力調査（国語・算数）を実施し、結果を分析することで授業改善及び個に応じたきめ細かい指導に生かすことができた。

さらに、「教育課程一般に係る実践研究」については3校（小学校2校、中学校1校）、「教科担任制に係る実践研究」については1校（小学校1校）を指定し、課題解決に向けた計画的・継続的な授業改善に係る実践研究を行った。

「教育課程一般に係る実践研究」・・・小俣小学校、みなと小学校、御菌中学校

「教科担任制に係る実践研究」・・・二見浦小学校

(5) 広島平和記念式典への参加

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことに伴い、4年ぶりに広島平和記念式典への中学生派遣事業を再開した。市立各中学校代表20人、教諭2人、指導主事3人が8月6日に広島市で開催された平和記念式典に参列し、戦争の悲惨さや核兵器廃絶の取組の重要性、平和の尊さを体感することができた。参加生徒は「中学生ピースメッセンジャー」として、現地で学んだことや感じたことを自校の生徒に還流し平和学習を深めるとともに、非核・平和空襲展の場で参加報告会も行った。

さらに、感想文集の発行、広報やZTV放送による発信、伊勢市ホームページへの生徒感想文の掲載、市内5か所におけるパネル展示も行い、広く市民の方々に平和の尊さを伝えることができた。

また、毎年継続した取組として、各中学校の全校生徒が恒久平和を祈願して作製した千羽鶴を、参加生徒が広島平和記念公園内の「原爆の子の像」へ献納する活動も行った。

(6) いじめ防止対策推進事業

いじめ防止等に資する対策を総合的かつ効果的に進めるため、各学校に「伊勢市いじめ防止基本方針」の周知を図った。

また、伊勢市のいじめ問題対策を充実させていくこと、市内の関係機関団体の連携を図っていくこと、重大事態への対処の体制を充実させていくために、各校に「伊勢市いじめ防止対策推進法施行条例」の周知を図り、「伊勢市いじめ問題対策連絡協議会」「伊勢市いじめ問題対策委員会」を設置して、いじめの未然防止と早期発見、いじめが起きた際の対処を迅速に行えるようにした。

- ・いじめ問題対策連絡協議会 2回開催

(第1回：令和5年6月15日、第2回：令和6年2月1日)

- ・いじめ問題対策委員会 2回開催

(第1回：令和5年9月14日、第2回：令和6年2月8日)

(7) エンジョイイングリッシュ事業

ア 小学生ちよこっと英語体験

小学校において、学習指導要領で求められている外国語によるコミュニケーション能力の素地や基礎を養うために、ALT（外国語指導助手）との交流を楽しむことができる活動を夏季休業中に行った。

期 日	場 所	内 容	参加人数
5. 7. 24	三重交通Gスポーツの杜伊勢	エンジョイ スポーツ！！	15人
5. 8. 1	小俣公民館	外国と日本の遊びにチャレンジ!!	15人
5. 8. 17	いせトピア	外国と日本の遊びにチャレンジ!!	8人
5. 8. 23	三重電子スマイルアリーナ小俣	エンジョイ スポーツ！！	10人

イ 中学生英語スピーチコンテスト

日々の授業における成果を発表する場の1つとしてスピーチコンテストをハートプラザみそのにて開催をした。(令和5年8月8日 17人参加)

ウ 英語検定チャレンジ事業

英語学習への関心意欲を高める機会のひとつとして、英語検定にチャレンジする児童生徒を増やしていくために、英語検定料の補助や準会場の設置を行った。

令和5年度英語検定チャレンジ事業

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	計
第1回	人 0	人 2	人 6	人 28	人 56	人 67	人 61	人 220
第2回	1	2	7	31	97	72	54	264
第3回	0	2	8	30	97	137	181	455
計	1	6	21	89	250	276	296	939

エ 小学校外国語活動研究指定（明倫小学校）

ALT（市直接雇用）2人を配置し、外国語活動の授業の充実に向けた研究を行う学校を1校指定した。研究校では、昼休みに4年生以上の児童を対象にしたALTによるイングリッシュタイムを実施したり、低学年でも定期的にALTと共に学ぶ授業を実施したりして充実を図った。

また、たくさんの小中学校の教員が授業を見て学べるよう、2回の授業公開をした。

オ わくわくどきどきキッズイングリッシュ

就学前教育保育施設にALTを派遣した。英語の歌やゲームを通して、園児が異なる文化に親しむことができた。

(8) ALT活動事業

英語を母語とする、またはそれに等しい環境で英語を身に付けた人材を雇用し、小中学校の担当教員が行う授業の補助を行った。授業における会話等をALTと練習することで、児童生徒が生きた英語に触れることができた。

また、休み時間や放課後のふれあいを通じて英語力やコミュニケーション能力の育成に努めた。地域との交流として、市立図書館での読み聞かせも定期的に行うなど、伊勢市の国際理解教育の促進に努めた。

(9) 学校図書館活性化支援事業

学校における学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能の強化を図るとともに、授業において学校図書館を活用したり、児童生徒の知的好奇心や読書要求を満たしたりするために、市立全小中学校32校に学校図書館スタッフを配置し、児童生徒の学習意欲を高め、学習環境を整える支援を行った。

また、全校統一した学校図書館システムの全館検索を活用し、学校間の相互貸借の仕組みを整備し、情報センターや読書センターとしての機能の活性化を図った。

(10) 読書大好キッズプロジェクト事業

学校図書館にスタッフを配置する学校図書館活性化支援事業と連携し、読書ツアーの本を紹介するコーナーを設置したり、読み聞かせを行ったり、児童生徒にとって図書館が身近になり、本が大好きになるような取組を行った。

小学1年生から3年生は伊勢市オリジナルブックリスト「読書ツアー（低学年用）」に取り組み、小学4年生から6年生は電子版「読書ツアー（高学年用）」に取り組んだ。子どもたちが、楽しみながら本を読み、読書の幅を広げることで、読書習慣の定着をめざした。

(11) 学校評議員設置事業

校長は、学校運営に関しての助言や地域の情報を学校評議員から得て、学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。（学校評議員は、有識者・保護者・地域住民から校長が推薦し教育委員会から委嘱する。）

（令和6年3月31日現在）

区分	保護者代表 (PTA役員含む。)	地域代表 (学校所在地近辺の自治会長等)	有識者等	計
小学校	14人	59人	18人	91人
中学校	7	22	9	38

(12) 学校教材整備

各校の実態に応じた教材の整備を進め、教育環境の充実に努めた。また、学校図書館が、その機能を十分に発揮できるよう図書等の充実に図った。加えて、理科教育のために理科教育振興法に基づく理科教材及び特別支援学級に対する備品を整備し、学習環境の充実に図った。

区分	教材整備経費			学校図書館 充実経費	計
	一般教材備品	理科教育振興法に 基づく理科教材備品	特別支援教育 設備整備		
小学校	円 11,130,754	円 440,880	円 147,696	円 7,287,723	円 19,007,053
中学校	6,676,653	1,775,290	173,735	5,529,525	14,155,203
計	17,807,407	2,216,170	321,431	12,817,248	33,162,256

(13) 就学援助制度事業

経済的理由により就学困難な児童生徒がいる家庭に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を助成した。なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童生徒から、入学前の3月に支給している。

区分	小学校			中学校		
	費目	支給人数 (人)	支給額(円)	費目	支給人数 (人)	支給額(円)
要保護	修学旅行費	1	29,165	修学旅行費	3	159,624
	医療費	0	0	医療費	0	0
	小計		29,165	小計		159,624
準要保護 (通常)	修学旅行費	152	4,107,133	修学旅行費	140	7,097,892
	学用品費等	832	12,579,240	学用品費等	455	12,809,830
	医療費	0	0	医療費	0	0
	給食費	832	37,653,103	給食費	456	21,906,107
	令和6年度 新入学学用品費 (入学前支給)	132	7,135,920	令和6年度 新入学学用品費 (入学前支給)	149	9,387,000
	小計		61,475,396	小計		51,200,829
	合計		61,504,561	合計		51,360,453

(14) 通学安全対策事業

児童の通学上の安全確保を図るため、遠距離その他の事由により徒歩による通学が困難な児童について、その通学に要する交通費を支給した。

なお、平成29年度から次年度分の通学定期券の現物支給を行っている。

対象校 中島小学校（辻久留町・辻久留3丁目・二俣町）

佐八小学校（津村町・大倉町・佐八町）

(15) 奨学生関係

経済的理由により修学困難な大学（短期大学を含む。）・高等専門学校・高等学校・中等教育学校（後期課程）に在学する学生、生徒に対して奨学金を支給し、奨学生の学費の負担軽減を図るとともに、有用な人材の育成に努めた。

(伊勢市奨学金)

種 別	区 分	応募者数	支給者数	支給額(月額)
高校等 (高専1年生～3年生含む)	国公立	19 人	19 人	5,500 円
	私 立	10	10	6,000
	計	29	29	
大学等 (高専4年生～5年生含む)	国公立(自 宅)	5	5	10,000
	国公立(自宅外)	6	6	8,000
	私 立(自 宅)	6	6	10,000
	私 立(自宅外)	6	6	8,000
	計	23	23	
計		52	52	

(16) 部活動指導員配置事業

市立中学校に部活動指導員を配置し、部活動指導体制の充実を推進するとともに、部活動を担当する教員の負担軽減・支援を行った。

令和5年度実績

配 置 校	部 活 名	配置人数	配置期間
城田中学校	バレーボール部	1 人	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
城田中学校	音楽部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
桜浜中学校	J R C 部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
桜浜中学校	陸上部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
五十鈴中学校	合唱部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
厚生中学校	ソフトテニス部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
港中学校	バスケットボール部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31
御菌中学校	軟式野球部	1	5. 4. 1 ～ 6. 3. 31

(17) 学校水泳民間プール施設活用事業

今後の学校水泳における民間プール施設の効果的かつ経済的な活用を検討するため、令和5年度は、6校の水泳の授業を委託し、研究をすすめた。

実施校	委託業者	人数	実施期間
早修小学校	バスパススポーツクラブ	116 人	5. 6. 6 ～ 5. 7. 10
豊浜東小学校		51	5. 6. 23 ～ 5. 7. 11
北浜小学校		87	5. 6. 6 ～ 5. 7. 11
佐八小学校		47	5. 9. 5 ～ 5. 9. 22
東大淀小学校		72	5. 9. 7 ～ 5. 9. 26
二見浦小学校	伊勢スイミングスクール	352	5. 6. 5 ～ 5. 7. 18

(18) 小学校体育活動推進事業・中学校体育活動推進事業

小学校においては、児童の体力向上、運動に親しむ取り組みが今後より一層図られるよう、小学校教員を対象とした体育指導講習会を実施した。中学校においては、各種中学校体育大会等を実施した。

また、学校部活動の活性化や競技スポーツを目指す生徒の育成を図るため、全国大会等への選手派遣費を負担した。

中学校体育連盟事業

開催日	大会名
5. 6. 3	伊勢市中学校陸上競技対抗選手権大会
5. 7. 8～ 7. 16	三重県中学校総合体育大会伊勢度会地区予選会
5. 9. 16～ 9. 17	三重県中学校陸上競技大会伊勢度会地区予選会
5. 9. 30～10. 7	伊勢度会中学校秋季体育大会
5. 11. 4	伊勢度会中学校駅伝競走大会

○ 人権教育関係

1 学校人権教育

すべての学校（園）で人権教育の課題を明確にし、指導体制を確立して、その推進を図った。

また、子どもたち一人ひとりを大切にす教育を充実させるとともに、指導内容を研究し、人権感覚の醸成を図った。

(1) 中学校区人権教育推進事業

研究指定中学校区において、人権教育の指導改善・充実についての研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校間で子ども理解と授業交流に努めた。令和5年度は、港・五十鈴・御菌・桜浜中学校区を研究校区に指定し実施した。

(2) 伊勢市子ども人権フォーラム21

令和5年度は、コロナ禍におけるオンライン開催から従来の集合型開催に戻し、フォーラムを実施した。小学生フォーラムでは125人、中学生フォーラムでは97人の児童生徒が参加した。両フォーラムとも、それぞれ2人の発表者の作文をもとに、参加した児童生徒が、学校での人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、互いの思いや願いを受け止め合いながら人権問題に対する認識を深めた。

フォーラムでの学びは、各小中学校における校内人権フォーラム等の場で還元され、人権学習の推進と充実につながった。

(3) 人権教育担当者会議

小中学校の人権教育校区連絡会担当者や人権フォーラム担当者を対象に、人権問題についての認識を深め、それに基づいた実践力や指導力など人権教育を推進するために必要な資質の向上をめざした研修会を実施した。

	開催月日	テーマ	内 容
1回	5. 11. 7	人権フォーラムの開催に向けて	・各校でのフォーラム事前事後指導について ・個別の人権課題の学習内容について
2回	6. 2. 13	・中学校区小中連携 ・1年間のまとめ	・「これからの人権～差別をなくす主体者として～」というテーマで研修 ・人権教育推進委員としてのまとめ (各校の人権教育推進委員)

(4) 人権作文集「人権の芽」の発行

小中学校で人権作文を募集し、選出した優秀作品による文集を発行することで、児童生徒が人権についてあらためて考える機会を設けた。小中学校合わせて337件の応募があり、54件を選出し、文集にまとめた。作文集は960冊作成し、各小中学校等へ配布した。

(5) 人権教育の実践研究委託

人権教育の調査・研究や研修会の開催などの事業を伊勢市人権・同和教育研究会へ委託し、人権教育の推進を図った。

○ 教育集会所関係

1 教育集会所管理運営事業

教育集会所に人権教育指導員を配置し、集会所活動に従事するとともに、地域での人権教育の推進に努めた。

2 教育集会所活動（教育集会所人権教育事業）

人権が尊重されるまちづくりをめざし、文化教養を高め、地域交流を図るために、子ども人権スクールを開設した。

集会所と活動区分		回 数	延べ参加人員	活 動 内 容
朝熊	小学生学習会	43回	262人	人権教育の推進を図るとともに、人権問題や人間関係づくりについて子どもたちがわかりやすく学べるよう、講座を実施した。
	中学生学習会	24	26	
	「輝きねっと」人権学習	6	327	
黒瀬	小学生学習会	18	188	
	「はま☆スタ」人権学習	10	423	

○ 保健関係

1 健康診断

幼児、児童、生徒及び職員の健康管理のため、学校保健安全法に基づく各種検診を次のとおり実施し、検診結果を文書により保護者と職員に通知した。

(1) 結核検診 (児童・生徒)

区 分	検査人員	精密検査該当者
小 学 校	5,728 人	2 人
中 学 校	2,946	0
計	8,674	2

(2) 尿検査 (幼児・児童・生徒)

区 分	第1次検査				第2次検査			
	検査人員	陽性者内訳			検査人員	陽性者内訳		
		蛋白	糖	潜血		蛋白	糖	潜血
小 学 校	5,710 人	95	1 人	37 人	69 人	5 人	0 人	12 人
中 学 校	2,907	66	1	43	105	5	0	3
幼 稚 園	108	0	0	2	1	0	0	0
計	8,725	161	2	82	175	10	0	15

(3) 眼科検診 (幼児・児童・生徒)

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	5,694 人	2,886 人	109 人	8,689 人
疾 病 ・ 異 常 者 数	151(2.65)	61(2.11)	5(4.59)	217(2.50)

※ () は有所見率 (%)

(4) 歯科検診 (幼児・児童・生徒)

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
被 検 診 者 数	5,689 人	2,887 人	109 人	8,685 人
う 歯 な し の 者	3,285(57.74)	1,877(65.02)	90(82.57)	5,252(60.47)
う 歯 処 置 完 了 者	1,006(17.68)	435(15.07)	4(3.67)	1,445(16.64)
未処置う歯のある者	1,398(24.57)	575(19.92)	15(13.76)	1,988(22.89)

区 分	小学校	中学校	幼稚園	計
歯 垢 の 状 態	136(2.39) 人	119(4.12) 人	1(0.92) 人	256(2.95) 人
歯 肉 の 状 態	29(0.51)	77(2.67)	0(0.00)	106(1.22)
その他の歯の疾患	660(11.60)	277(9.59)	19(17.43)	956(11.01)
歯列・咬合・顎関節の異常	160(2.81)	163(5.65)	22(20.18)	345(3.97)
計	985(17.31)	636(22.03)	42(38.53)	1,663(19.15)

※ () は有所見率 (%)

(5) 耳鼻咽喉科検診（小学校1年生・4年生及び中学校1年生）

区 分	小学校	中学校	計
被 検 診 者 数	1,842	969	2,811
耳 疾 患	174(9.45)	58(5.99)	232(8.25)
鼻・副鼻腔疾患	480(26.06)	205(21.16)	685(24.37)
口腔咽喉頭疾患	62(3.37)	7(0.72)	69(2.45)
計	716(38.87)	270(27.86)	986(35.08)

※（ ）は有所見率（％）

(6) 心臓検診（小学校1年生・4年生及び中学校1年生）

対象学年	心電図検査	要精検査	所見率
	人	人	％
小 学 校	1,796	69	3.84
中 学 校	973	30	3.08
計	2,769	99	3.58

2 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度

学校の管理下における児童生徒等の災害に関し、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に加入し、治療費や見舞金の給付を行った。

区 分	加入人員	医療費給付件数	給付率	給付金額	発生件数
	人	件	％	円	件
小 学 校	5,727	509	8.89	3,093,537	341
中 学 校	2,923	763	26.10	5,380,881	386
幼 稚 園	110	4	3.64	37,304	3
計	8,760	1,276	14.57	8,511,722	730

※主な傷病名 手足の挫傷・打撲・骨折等

3 学校歯科保健衛生指導事業

児童が口の健康についての正しい知識を持ち、適切な歯科保健行動を実践する力をつけるため、学校歯科医、歯科衛生士の協力のもと、学齢の課題にあわせた歯科保健指導を実施した。

対 象	内 容
小学校2年生	歯みがき指導を中心としたむし歯予防指導
小学校5年生	歯みがき指導を中心としたむし歯・歯肉炎予防指導

4 女子児童生徒寄り添い支援事業

家庭の事情で生理用品の購入が困難な状況等でも安心して学校生活を送れるよう、全小中学校の女子トイレの個室に生理用品を設置した。

○ 食育推進関係

「第4次伊勢市食育推進計画」（令和5年度～令和9年度）に基づき、子どもたちが生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、家庭、地域との連携を図りつつ食育を推進した。

第4次伊勢市食育推進計画の基本方針

- ① ライフステージに応じた食育の推進
- ② 健康寿命の延伸を目指した食育の推進
- ③ 共食を通じた食育の推進
- ④ 地産地消の推進と伝統的食文化の継承
- ⑤ 食と環境の調和の促進

1 学校における食育の実施

伊勢市食育推進計画に基づき「全小中学校で、栄養教諭・臨時学校栄養職員の専門性を生かした食育の推進を図る」「各学校がこれまで行ってきた特色ある食に関する指導をさらに進め、食に関する指導の充実を図る」ために、それぞれにおいて、地域の人材を活用した食に関する指導、地域の食に関する文化や環境を生かした体験活動、地場産物を効果的に活用した指導等、子どもの実態や地域の特性を生かした取組等を実施した。

・食育担当者連絡協議会（4月、11月、2月）

栄養教諭、臨時学校栄養職員の専門性を生かした食に関する指導を一層進めるとともに、各学校における指導の充実を図るため、授業研究会の参加、講習会等の研修を実施した。

(1) 学校における食育推進のための研究事業

児童が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、児童が主体的に体験活動に取り組み、地域の人とつながりながら生産者の思いを知ることを通して、食に関わる人々や食材への感謝の気持ちを育くんだり、実生活と結びついた食の学習を行ったりするなど、学校教育活動全体での推進を行った。

学 校 名	テーマ
御菌小学校	健やかな食生活を送ろうとする子どもの育成 ～地域とのつながりをもって～

(2) 学校における食育推進体制整備事業

児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作り、将来にわたって健康に生活していけるよう、食事を楽しみ、栄養や食事のとり方について自ら判断し、実施していく「食に関する自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身に付けることを目的に、以下のとおり実施した。

学 校 名	テーマ
宮山小学校	地域を知り、地域を誇れる児童の育成
城田小学校	地域とともに育つ「きだっこ」 ～農業を営む地域を舞台に展開する学習～
小俣中学校	学校・家庭・地域の連携による食育

(3) いせっ子朝食メニューコンクール

自らの食生活に関心を持ち、望ましい食習慣を身につけられるよう、三重県教育委員会主催の「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール」を活用し、伊勢市の地場産物を使用した作品を対象にしたコンクールも併せて実施した。

○ 新型コロナウイルス感染症関係

1 臨時特例奨学金育英事業

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生・生徒に対し、臨時特例奨学金として資格の拡充及び要件緩和を行った。

(臨時特例奨学金)

種 別	区 分	応募者数	支給者数	支給額 (月額)
高校等 (高専1年生～3年生含む)	国公立	43 人	39 人	5,500 円
	私 立	30	29	6,000
	計	73	68	
大学等 (高専4年生～5年生含む)	国公立(自 宅)	10	8	10,000
	国公立(自宅外)	12	10	8,000
	私 立(自 宅)	23	22	10,000
	私 立(自宅外)	33	32	8,000
	計	78	72	
計		151	140	

2 学校保健特別対策事業 (感染症流行下における学校教育活動体制整備事業)

新型コロナウイルス感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に止めつつ、学校教育活動を継続できる環境を維持するため、新型コロナウイルス感染者が発生した学校において感染拡大抑止に必要な保健衛生用品を購入した。また、教室等における効果的な換気の実施に必要となる備品の購入を行った。

購入品一例	手袋、清掃用品、マスク、CO2モニター、サーキュレーター、空気清浄機、大型扇風機等
-------	---

社 会 教 育 課

○ 社会教育関係

1 社会教育推進事業

社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議

(1) 委員数 11名

(2) 会議

社会教育関係事業の実施状況についての審議や講師を招き意見交換会を実施した。

第1回 令和5年6月29日 小俣公民館

情報交換会 令和5年11月16日 小俣公民館

第2回 令和6年3月14日 小俣公民館

(3) 委員研修

第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会に会場参加した。

開催日 令和5年10月12日・13日

場 所 福井県福井市

2 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習講座の実施

生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。

ア 二見公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	場所
前期	1	現代語で読む古事記③〈タギリ姫 ～健御名方の服従〉	5 回	82 人	二見生涯学習センター
	2	指文字アート	5	41	〃
	3	花づくりの基礎	5	62	〃
	4	魚とハーブの料理	5	42	二見公民館
後期	1	実践的英語会話～相手の話をきく	5	42	二見生涯学習センター
	2	現代語で読む古事記④〈ニニギの 命の誕生～神武天皇下〉	5	81	〃
	3	生活に身近な煎茶	5	37	二見公民館
	4	つるし飾りとつまみ細工を作ろう	5	36	二見生涯学習センター
単独	1	デコ巻き寿司	5	48	二見公民館
	計	—	45	471	—

イ 小俣公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	
前期	1	クラフトバンド手芸	5 回	47 人	小俣公民館
	2	季節を感じるパンづくり	5	58	小俣農村環境改善センター
	3	マットピラティス～女性対象～	10	93	小俣公民館
	4	みんなで楽しくボイストレーニング	5	45	〃
後期	1	クラフトバンド手芸	5	44	〃
	2	季節を感じるパンづくり	5	93	小俣農村環境改善センター
	3	マットピラティス～女性対象～	10	79	〃
	4	エンジョイフラダンス	8	64	〃
	5	バレトン～女性対象～【ハイブリッド型】	6	46	〃
単独	1	はじめての編み物	5	47	小俣公民館
	計	—	64	616	—

ウ 御菌公民館講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	場所
前期	1	己書	10 回	95 人	御菌公民館
	2	お灸	5	60	〃
	3	アートを楽しむ	5	17	〃
	4	転倒予防	5	36	〃
後期	1	みんなで楽しくボイストレーニング【ハイブリッド型】	5	49	〃
	2	フォトブック	5	37	〃
	3	描く時間、書く時間	5	20	〃
	4	リズムダンス	10	88	〃
単独	1	鑑賞講座「東京ブギウギ」から「待つわ」まで…	1	48	〃
	2	己書	5	44	〃
	3	伊勢のしめ飾り作り	1	17	〃
	計	—	57	511	—

エ 高校連携講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	学校
前期	1	高校生によるシニアのためのスマホ講座①②	2 回	30 人	宇治山田商業高等学校
	2	えいごであそぼう①～③	3	46	〃
	計	—	5	76	—

オ 民間活用講座

	No.	講座名	延べ回数	延べ 受講者数	民間事業者
二見	1	スマートフォンを体験してみよう (入門編)	1 回	13 人	ソフトバンク
	2	スマートフォンを体験してみよう (基本編)	1	19	〃
	3	ZOOMを体験しよう①②	2	18	〃
小俣	1	小津安二郎監督生誕120年記念講座 【ハイブリッド型】①～⑤	5	204	小津安二郎監督生誕 120年記念事業実行委 員会
	2	ドローンを触ってプチ体験①②	2	39	ドローンスクール&ア グリワークス
	3	スペシャリストがおすすめする 「美・食・学」	3	39	JA伊勢
	4	「争わない」相続準備	3	57	〃
	5	スマートフォンを体験してみよう (入門編)	1	21	ソフトバンク
	6	スマートフォンを体験してみよう (基本編)	1	21	〃
	7	ZOOMを体験しよう①②	2	8	〃
御菌	1	知りたい、聞きたい、こんな話	5	57	第一生命
	2	スマートフォンを体験してみよう (入門編)	1	13	ソフトバンク
	3	スマートフォンを体験してみよう (基本編)	1	10	〃
	4	ZOOMを体験しよう①②	2	7	〃
	計	—	30	526	—

(2) 家庭教育応援講座

家庭教育を支援するため、親子リフレッシュ教室に続けて親子の絆ラボ「子どもは未来の留学生」をメインテーマに家庭教育応援講座を開催した。また、親子がふれあいながら楽しめる親子参加型講座を開催し、子育ての悩み等に対応するため個別相談を実施した。

夏季には、「電気とお菓子で親子の絆を深めよう！」と題して産官学が連携した講座等を開催した。

ア 親子の絆ラボ

No.	サブテーマ	回数	受講者数	場所
1	幼児の心の特徴	1 回	1 人	いせトピア
2	子どもだって一人の人間～三過剰～	1	3	〃
3	子どもの個性を伸ばしましょう～反抗期～	1	1	〃
計	—	3	5	—

イ 親子参加型講座

No.	講座名	延べ回数	延べ受講者数	親子数	場所
1	絵本ふれあい広場+Let'sバレトンwith赤ちゃん【親子参加型】①②	8回	60人	19組	小俣保健センター
2	絵本ふれあい広場+親子でリトミック【親子参加型】①②	8	95	30	〃
3	FUN!FUN!ENGLISH【親子参加型】+伊勢あったか子育て広場【託児あり】①～⑦	7	47	18	〃
4	楽しく子育て	2	6	3	御園公民館
計	—	25	208	70	—

ウ 親子体験講座

No.	内容	回数	受講者数	場所
1	電気とお菓子で親子の絆を深めよう！	1回	38人	IXホールディングス株式会社
2	FUN!FUN!工作（光のチューブ）	1	37	いせトピア
3	FUN!FUN!工作（糸版画）	1	29	〃
計	—	3	104	—

(3) 伊勢文化サークル協会活動への支援

自主事業及び文化祭等の活動支援

生涯学習サークルの集合体である伊勢文化サークル協会の活動支援を行った。

支部名	構成員	内容	日程	場所
二見支部	21団体 247人	作品展示会	5.10.28～29	二見生涯学習センター
		芸能発表会	5.11.4	二見老人福祉センター
		囲碁大会	5.11.10	二見公民館
小俣支部	32団体 411人	作品展示会	5.10.21～22	小俣農村環境改善センター、小俣図書館
		芸能発表会	5.11.12	小俣農村環境改善センター
御園支部	18団体 158人	作品展示会	5.11.11～12	ハートプラザみその
		芸能発表会	5.10.22	

3 放課後子ども教室運営事業

地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」を実施した。

事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会と連携して、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。

名称 「放課後子ども教室」（伊勢市における呼称：いせ子どもチャレンジ教室）

実施講座数 28講座（受講者 連携型173人、一体型394人）

財源 放課後子ども総合プラン実施事業費補助金

補助率（国1／3、県1／3）

○ 施設関係

1 公民館管理運営

社会教育及び生涯学習活動の拠点として使用されている3公民館（二見、小俣、御菌）の管理、運営を行った。

各地域にある13公民館については、地元自治会が指定管理者となり、地域の活動拠点として管理している。（指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日）

（1）使用状況

ア 二見公民館

区分	使用回数	使用人数
会議室	187回	2,303人
第1和室	130	1,010
第2和室	32	478
視聴覚室	32	292
調理実習室	140	1,822
計	521	5,905

イ 小俣公民館

区分	使用回数	使用人数
第1会議室	334回	6,378人
第2会議室	251	1,230
学習室	139	1,327
2階会議室	239	1,318
3階会議室	89	430
団体室	185	444
講堂	117	1,417
計	1,354	12,544

ウ 御菌公民館

区分	使用回数	使用人数
講堂	380回	6,538人
学習室	194	1,602
研修室2-1	101	1,053
和室研修室	67	239
計	742	9,432

（2）工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宇治今在家町 地内	(注) 高麗広公民館（ふれ あい工房）改修工事 設計業務委託	設計業務一式	円 1,265,000	5. 6. 21	5. 9. 15
小俣町元町 地内	下小俣公民館空調機 取替工事	空調機取替一式	715,000	5. 11. 1	5. 11. 21

(注) 営繕課施行

(3) 高麗広公民館

公民館の利用状況

利用回数	延べ利用者数	主な内容
24回	339人	転倒防止予防講座・公民館美化活動・例会等

2 生涯学習センター施設管理運営

(1) 伊勢市生涯学習センター（いせトピア）

民間能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の維持管理のほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んでいる。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢市生涯学習センター	特定非営利活動法人 まなびの広場	31. 4. 1 ～ 6. 3. 31 (5年間)	総額 385,088
			(各年度) R1 76,028
			R2 76,725
			R3 76,725
			※R4 78,885
			R5 76,725

※令和4年度 電気代補填2,160千円を含む。

ア 利用状況

区分		利用回数	利用人数
多目的 ホール	ホール全体	340 回	31,576 人
	舞 台のみ	74	1,198
	フロアのみ	105	3,184
楽 屋1		153	146
楽 屋2		126	110
学習室1		780	8,754
絵画室		350	3,512
工芸室		381	3,592
会議室1		257	1,553
調理室		212	1,819
和 室		245	1,903
学習室2		474	6,611
学習室3		559	6,034
会議室2		567	4,955
研修室1		445	15,553
研修室2		435	390
文化交流室		619	8,386
パソコン室		238	2,313
れいんぼうルーム		630	1,070
団体室		453	607
ふれあい広場		372	5,069
計		7,815	108,335

イ 講座の実施状況

期別	講座種別	講座数	募集人数	応募者数	受講者数
年 間 (1期～4期)	6か月講座	22 講座	512 人	636 人	522 人
	4か月講座	24	299	631	311
	パソコン講座	12	230	186	168
	短期講座	64	705	1,344	717
	子ども向け講座	35	384	886	424
	特別講座	2	45	33	22
計		159	2,175	3,716	2,164

ウ イベント事業の実施状況

開催日	行事名	内容	入場者数
5. 5. 27	第1回公開講座	講師 秋山博康 (犯罪評論家・犯罪コメンテーター) 演題 リーゼント刑事が語る犯罪にまつわる様々な対策	165 人
5. 8. 6	子ども夏まつり	工作・体験学習等	826
5. 8. 26	第2回公開講座	講師 小沢かづと (シンガーソングあそびライター) 演題 あそんで！わらって！あそびうた L I V E	82
5. 10. 24	名作映画鑑賞会	浮雲・眠狂四郎殺法帖	88
5. 10. 25	名作映画鑑賞会	嵐を呼ぶ男・網走番外地	85
5. 11. 25	第3回公開講座	講師 渡貫淳子 (第57次南極観測隊 設営・調理) 演題 南極ではたらく ～かあちゃん、調理隊員になる～	105
6. 1. 7	子ども新春まつり	工作・体験学習等	755
6. 2. 3 6. 2. 4	生涯学習フェスティバル	舞台部門・展示部門・成果発表会	1,735
6. 3. 23	第4回公開講座	講師 小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター准教授) 演題 ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障	300

エ 親子リフレッシュ教室

家庭教育に対する支援の一環として、就学前の親子が集い交流する場を提供するため、毎月2回木曜日に事業を実施した。

開催回数	延べ参加者数		主な内容
	保護者	子ども	
24回	205 人	238 人	リズム体操など

(2) 二見生涯学習センター

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を（公社）伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

使用状況

区分	使用回数	使用人数
研修室2	167 回	2,073 人
研修室3	173	1,169
研修室4	115	678
ホール	425	5,587
計	880	9,507

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒瀬町 地内	(注) 伊勢市生涯学習センター受電設備改修工事	受電設備改修一式	円 1,887,600	5.11.10	6.2.16

(注) 営繕課施行

3 学習等供用施設管理運営

各地域にある20施設について、地元自治会が指定管理者となり、地域の活動拠点として管理している。(指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日、小俣北部公民館は令和4年4月1日～令和7年3月31日)

(1) 使用状況

利用状況 小俣北部公民館

区分	利用回数	利用人数
集会室	300 回	3,260 人
学習室1	52	342
学習室2	46	310
学習室3	170	1,116
計	568	5,028

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
有滝町 地内	有滝町民会館空調機取替工事	空調機取替一式	円 649,000	5.5.31	5.8.10
有滝町 地内	(注) 有滝町民会館トイレ改修工事	トイレ改修一式	1,650,000	5.7.7	5.9.19
村松町 地内	村松町民会館外壁修繕工事	外壁修繕一式	696,300	5.12.4	6.1.17

(注) 営繕課施行

4 農村環境改善センター管理運営

生涯学習活動の場として研修室やホール等の貸出を行っている。

施設は、市が管理を(公社)伊勢市シルバー人材センターへ委託している。

使用状況 小俣農村環境改善センター

区分	使用回数	使用人数
1階会議室	324 回	2,064 人
和 室	201	1,541
実 習 室	213	1,255
多目的ホール	741	16,666
2階会議室	105	663
研 修 室	83	665
計	1,667	22,854

○ 図書館関係

1 図書館運営

(1) 図書館協議会

図書館法第14条の規定に基づき、図書館運営等について協議を行った。

ア 委員数 14名

イ 会議 第1回 令和5年7月26日 小俣公民館

第2回 令和5年11月15日 小俣公民館

第3回 令和6年3月21日 小俣図書館

(2) 市立図書館の管理、運営

ア 指定管理制度の導入

伊勢市立図書館は、民間の能力を活用し、施設の効果的で効率的な管理運営を行うため、伊勢図書館は平成18年4月、小俣図書館は平成21年4月から、指定管理者制度を導入している。指定管理者は、施設の管理運営及び各種行事を実施している。

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(千円)
伊勢図書館 小俣図書館	(株) 図書館流通センター	31. 4. 1 ～ 6. 3. 31 (5年間)	総 額 693,107
			(各年度) R1 136,039
			R2 137,287
			R3 137,287
			※1 R4 142,917
※2 R5 139,577			

※1 令和4年度 電気代補填5,630千円を含む。

※2 令和5年度 電気代補填2,291千円を含む。

イ 図書館利用登録者数 (令和6年3月31日現在)

市内73,645件、市外13,728件、計87,373件

ウ 貸出人数、貸出冊数、蔵書数

区分	貸出人数	貸出冊数	蔵書数
伊勢図書館	113,588 人	379,566 冊	269,555 冊
小俣図書館	60,651	272,015	188,409
生涯学習センター分室	1,180	2,510	1,527
沼木分室	164	337	1,606
豊浜分室	201	386	2,003
神社分室	584	1,326	1,669
城田分室	259	530	2,456
北浜分室	206	420	2,228
浜郷分室	721	1,746	2,246
宮本分室	240	489	2,327
大湊分室	1,512	2,808	1,970
四郷分室	604	1,431	2,088
二見公民館分室	522	1,226	8,558
ハートプラザみその分室	1,401	3,852	4,651
市立伊勢総合病院分室※	80	233	4,464
計	181,913	668,875	495,757

※令和5年度は5月3日より通常開室、3月22日より改修工事のため休室

エ 利用状況

(伊勢図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
289日	186,755人	9,113冊	25,849冊	4,173冊	1,982冊	837冊	861件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	視聴覚室	小会議室	展示ホール
2,366件	293件	1,908件	1,775件	754件	225件	129件	104日

(小俣図書館)

開館日	入館者	予約	インターネット予約	リクエスト	相互借受	相互貸出	複写
286日	148,914人	4,858冊	13,107冊	1,510冊	871冊	580冊	377件
映像資料	聴覚資料	インターネット	PCコーナー	レファレンス	ホール	会議室	ギャラリー
3,545件	4件	914件	3,016件	190件	59件	137件	16件

オ 購入冊数

図書	雑誌	視聴覚資料
9,180 冊	3,323 冊	42 点

カ 伊勢市電子図書館

令和5年5月1日から市立図書館の非来館型サービスとして300冊の児童書コンテンツを導入し、「伊勢市電子図書館」として試験的に提供した。

総ログイン数	総閲覧数
69,046 回	166,663 回

キ 主な図書館行事、施設見学受入等

(伊勢図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
おはなし会	50 回	746 人	図書館スタッフ、ボランティア等による絵本や紙芝居のよみきかせ
上映会	11	387	視聴覚室において映画の鑑賞
子育て絵本塾	10	173	講師 紙芝居文化の会運営委員 堀川美子氏
あかちゃんえほんのじかん	12	299	図書館スタッフ、ボランティアによるあかちゃん向けの絵本や手遊びの紹介
その他	-	-	図書館まつり、図書館見学、リサイクルフェア、伊勢のもの学び 等

(小俣図書館)

行事名	回数	参加人数	備考
おはなし会	22 回	286 人	図書館スタッフ、ボランティア等による絵本や紙芝居のよみきかせ
上映会	12	183	ホールまたは視聴覚室において映画の鑑賞
図書館おはなし会&工作教室	12	227	図書館スタッフによるよみきかせと工作
赤ちゃんおはなし会	12	136	あかちゃん向けの絵本や手遊びの紹介
その他	-	-	図書館まつり、リサイクルフェア、読書ラリー、各種講座、かるた大会等

(3) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	小俣図書館空調機取替工事	空調機取替一式	円 1,155,000	5. 5.17	5. 6. 6
小俣町本町地内	(注) 小俣図書館大会議室 吊り天井改修工事	天井改修一式	8,646,000	5. 6. 2	5. 7.21
小俣町本町地内	(注) 小俣図書館閲覧室照 明改修工事	照明設備改修一式	4,007,300	5. 9. 1	5.10.13

(注) 営繕課施行

2 子ども読書活動の推進

(1) 子ども読書活動推進会議

子ども読書活動の活性化を図るため、伊勢市子ども読書活動推進計画に関する重要事項について審議を行った。

ア 委員数 10名

イ 会議 第1回 令和5年10月27日 小俣公民館

第2回 令和6年3月18日 小俣公民館

(2) ブックスタート支援事業

赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけをつくった。対象の赤ちゃんに絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを図書館と1歳6か月児健診時の会場で配付した。

(配付人数 686 人)

○ 青少年育成関係

1 青少年健全育成推進事業

(1) 青少年健全育成事業

青少年問題のもつ重要性を深く認識し、関係機関及び団体との緊密な連携を図り、広く市民からの理解と協力を得て、次代を担う青少年の健全育成活動を推進することを目的とし、青少年健全育成活動を実施した。

ア 青少年健全育成のための広報、啓発活動

全国及び三重県で展開される以下の強調期間に合わせ、庁舎に懸垂幕『育てよう地域ぐるみで青少年』を掲示し、関係団体と連携した啓発活動を実施した。

- ・ 青少年の非行・被害防止全国強調月間（7/1～7/31）
- ・ 青少年非行防止活動夏季強化期間（7/1～8/31）
- ・ 子ども・若者育成支援強調月間（11/1～11/30）

イ 関係機関・団体との連携

三重県子ども・福祉部少子化対策課、(公財)三重こどもわかもの育成財団、南勢志摩児童相談所、伊勢警察署と連携し、活動を行った。

ウ 青色回転灯車両による下校時の学校周辺等パトロール

小学校1年生の下校時に合わせ、青色回転灯車両にて定期的に校区のパトロールを実施した。

また、子どもたちが安心安全に外出できるようパトロールを行い、不審者対策に努めた。

(2) 伊勢市青少年問題協議会

地方青少年問題協議会法（昭和28年法律第83号）に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策のために設置された伊勢市青少年問題協議会において、青少年健全育成における活動方針等を協議した。

(3) 伊勢市青少年育成市民会議

青少年の保護及び健全な育成のため、広報・啓発及び調査研究等、青少年健全育成の推進に必要な事業を、伊勢市青少年育成市民会議に委託し、各中学校区単位で組織された青少年育成協議会と連携した地域主導型による青少年健全育成活動に取り組んだ。

ア 伊勢市青少年育成市民会議講演会の開催

青少年を取り巻くインターネット利用環境の多様化により、増加しているSNS等をめ

ぐる問題に対する理解を深めるため、昨年度に引き続き、講演会を開催した。

開催日：令和6年3月16日（土）

場 所：伊勢市生涯学習センター 多目的ホール

内 容：「スマホ時代の子どもたちのために」

講 師：兵庫県立大学環境人間学部教授 竹内和雄 氏

参加者：107人（うち21人はZoom参加者）

イ 南勢志摩地区支部研修会の開催

定住自立圏内の地域活動者などを対象とした研修会を南勢志摩地区の青少年育成市町民会議と共催で開催した。

開催日：令和5年12月16日（土）

場 所：志摩市磯部生涯学習センター 多目的ホール

内 容：「自己肯定感を育てるために」

講 師：NPO法人三重みなみ子どもネットワーク 理事長 秋山則子 氏

参加者：67名（伊勢市13名）

ウ 中学校区青少年健全育成協議会との連携

各中学校区単位で組織された青少年健全育成協議会による地域に密着した青少年健全育成活動を支援した。

エ 関係団体との連携

（公財）三重こどもわかもの育成財団をはじめ、県内の市町民会議との連携を図った。

特に、南勢志摩地区の市町民会議との連携を密にし、地区内の情報共有に努めた。

（4）青少年相談センターの管理運営

青少年の非行について早期発見、早期指導及び青少年に関する相談並びに情報の収集、資料の整備などを行うとともに、関係機関及び団体等との協力体制を確立し、合同活動の拠点として青少年の非行防止を図り、健全な育成に寄与することを目的に、伊勢市青少年相談センターの運営を行った。

ア 青少年相談センター運営協議会の設置

青少年相談センター業務の具体的な活動計画を協議した。

開催日 令和5年6月6日（火）

場 所 小俣公民館

イ 青少年相談センターの活動

○非行少年の早期発見と指導

・青少年指導員の委嘱

中央指導員 91人	小中高等学校教諭・女性団体・保護司 主任児童委員・青少年相談センター
地区指導員 153人	小中学校教諭・PTA・有識者

・街頭指導の実施状況

実施回数	活動人数	指導を受けた人数
354回	延べ856人	101人

○青少年に関する相談の受付及びこれに対する必要な措置

青少年やその関係者を対象に、相談員による青少年相談を実施した。内容により、関係する機関への連絡・案内・橋渡しを行った。また、平成27年度からメールによる相談も開始している。

・相談活動の実施状況

面接相談	電話相談	メール相談	合計
0件	1件	0件	1件

○青少年の健全育成に資する機関、団体等との連携

伊勢市小中学校生徒指導協議会、南勢地区高等学校生徒指導連絡協議会と連携し、生徒指導の強化を図った。

また、伊勢警察署、南勢少年サポートセンター、南勢志摩児童相談所と連携した指導、相談業務を実施した。

○その他青少年の生活を明るくし、非行を未然に防止するために有効と認められる事業

月1回程度、青少年相談センターだより『輪』を発行し、指導活動の状況や教育委員会からの情報を青少年指導員に配付し、ホームページ上で発信した。

2 飯田市交流会実施事業

伊勢市と飯田市の児童の代表が、学校内外の生活や自分たちの地域社会のことについて話し合い、友情と連帯の輪を強め、次代のリーダーを養成することを目的に、伊勢市・飯田市小学生交流会を実施した。

開催日：令和5年8月3日（木）～8月4日（金）

場所：伊勢市内（伊勢市の小学生が受入）

参加児童：伊勢市小学校代表 32人

飯田市小学校代表 21人

内 容 かまぼこ作り体験、伝統芸能体験、海浜アート体験等

3 成人式開催事業

成人の日にちなみ、二十歳を迎えた成人を祝い応援するため、「伊勢市二十歳のつどい」を開催した。令和5年度は4年ぶりに1部制で開催した。開催にあたっては、市内の各中学校区から推薦を受けた委員24人及び公募委員3人による「伊勢市二十歳のつどい実行委員会」を組織し、自ら企画・運営を行った。

開催日 令和6年1月7日（日）

場 所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）

参加者数 984人（参加率90.5%）

ス ポ ー ツ 課

○ スポーツ振興関係

1 伊勢市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第31条の規定に基づき、スポーツの推進及び各種団体の育成を図るとともに、生涯スポーツの普及・充実に努めるため設置した審議会において、「第3期伊勢市スポーツ推進計画」の進捗を管理した。

(1) 委員数 12人

(2) 開催回数 2回

(3) 内容

開催回数	開催日	審議事項
第1回	5. 6. 26	・第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和4年度取組結果について ・第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和5年度実施計画について ・伊勢市スポーツ施設長寿命化計画について
第2回	6. 3. 1	・第3期伊勢市スポーツ推進計画の令和5年度取組結果について ・伊勢市スポーツ施設長寿命化計画について

【参考】

第3期伊勢市スポーツ推進計画

計画期間：令和4年度～令和8年度（5年間）

目標とする姿：「ライフステージに合わせてスポーツを楽しめるまち」

～子どもから高齢者まで、だれもが自分自身のスタイルでスポーツを楽しめるまちを目指します。～

基本方針：①スポーツ活動の充実

②スポーツ関係団体の連携・強化

③スポーツ施設の利便性の向上

2 スポーツ大会等

一人でも多くの人々がスポーツに親しむ社会実現のため、生活の中に自然にスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指すことを目標に、生涯スポーツや競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ大会等を開催した。

開催日	大会名・事業名	参加人数
5. 6. 25	ちびっこ超人選手権大会 2023	343人
5. 8. 1～10	小学生スポーツチャレンジ！	189
5. 10. 9	いせスポーツフェスティバル2023	123
5. 10. 11～15	伊勢神宮奉納社会人野球 第71回 JABA 伊勢・松阪大会	2,833 (注1)
6. 2. 18	第17回美し国三重市町対抗駅伝	35 (注2)
6. 3. 26～28	第35回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	1,634 (注3)

(注1) ダイムスタジアム伊勢(倉田山公園野球場)における参加者及び観客数

(注2) 参加に向けて伊勢市選手団を結成し、結団式を実施し、練習会を3回実施した。

(注3) 大会2日間の監督・選手の延べ数

3 総合型地域スポーツクラブ

生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が、各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいて、年間を通じて数多くのスポーツ教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々の参加があった。

また、皇學館大学と連携して合同体験教室を4年ぶりに開催した。この教室は、総合型地域スポーツクラブの小学生会員を対象に実施したが、初回のみ会員以外の小学生も参加できることとし、クラブ会員の増員を図った。

そのほか、令和元年度から登録クラブ外の会員を含め、会員以外の方も体験として参加できるクラブ交流会事業を実施しているが、これについては6クラブの実施となった。

・総合型地域スポーツクラブ合同体験教室(令和5年度 参加実績)

種目	回数	参加者 (延べ人数)
バレーボール	1回	20人
サッカー	4	45
ソフトテニス	4	61
剣道	1	11
卓球	3	33
バドミントン	3	37
よさこい	3	29
空手	4	22
ダンス	5	53
軟式野球	2	48
硬式野球	2	12
計	32	371

・総合型地域スポーツクラブ会員数

(会員数は令和6年1月1日現在)

名称	対象地区	設立年月日	会員数
いすずウキウキクラブ	五十鈴中学校区	平成16年 3月13日	512人
厚生総合型スポーツクラブ	厚生小学校区	平成16年 4月 7日	574
みそのスポレククラブ	御蘭中学校区	平成16年 4月18日	332
北浜はつらつクラブ	北浜小学校区	平成16年 5月16日	161
きだっこクラブ	城田中学校区	平成17年10月 9日	482
おばたスポレククラブASREC	小俣中学校区	平成18年 4月23日	455
ふたみふれ愛クラブ	二見中学校区	平成24年 2月26日	221
有緝わくわくクラブ	有緝小学校区	平成27年 4月21日	353
合 計			3,090

4 全国大会等参加激励事業

各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体、もしくは、本市または、三重県ブロック代表等で全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給した（学校の部活動顧問として児童生徒を引率する者を含む。）。

また、全国規模以上のスポーツ大会において、優勝又はそれに準ずる成績を収めた選手に対し、本庁舎本館1階ロビーへ名前を掲示し、その功績を称えた。

- ・支給件数 151件
- ・支給額 8,650,000円
- ・主な大会 全国高校総体、陸上競技全国大会、第96回選抜高等学校野球大会（宇治山田商業高校）ほか

5 伊勢市スポーツボランティア功労者に対する感謝状贈呈

スポーツ分野において、長年ボランティア活動を続け、伊勢市のスポーツ振興に寄与されている方に教育長から感謝状を贈呈した。

- ・実施日 令和5年10月11日
- ・受賞者数 4人
- ・推薦者 伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会

6 スポーツ推進委員

各地域において、スポーツ行事や教室等を開催し、地域におけるスポーツの普及や振興を図るとともに、地域住民に対し指導助言を行った。

スポーツ推進委員で構成する伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会の主催事業である「ちびっこ超人選手権大会2023」及び「いせスポーツフェスティバル2023」において、運営の中心的な役割を果たし、生涯スポーツの振興に貢献した。

- ・委員数 58人

7 スポーツ少年団

子どもたちのスポーツ活動に関する視野を拡大し、競技人口の一層の拡大を図るとともに、規律ある団活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成に寄与した。

- ・団数 36団
- ・団員数 910人（令和5年9月現在）
- ・主な事業

開催日	事業名	参加人数
5. 5. 21	スポーツ少年団体力テスト事業 スポーツテスト2023	377人
5. 10. 29	スポ少フェスタ2023 「体力づくりとリズムジャンプ」	321
5. 12. 24	スポーツ少年団交流事業	286

5. 12. 24	母集団育成事業 講演会「子どもの発達・発育に合わせた運動とは」 日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー 福田圭吾 氏	62人
5. 12～ 6. 2	種目別交流事業（実施種目：バドミントン、剣道、 野球、サッカー、複合）	603

8 スポーツ協会

アマチュアスポーツ競技団体を統括するとともに、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚に努め、あらゆるスポーツの健全な普及振興に寄与した。

各競技団体においては、競技の普及やジュニア育成、競技力向上等のための大会や教室を開催した。

- ・加盟競技団体数 32団体

9 レクリエーション協会

生涯スポーツの充実を図るため、誰もが親しみやすく参加しやすいレクリエーション大会や教室を協会及び所属団体において開催した。

- ・所属団体数 7団体

市民ふれあいスポカルウォーク

開催日	内 容	参加人数
5. 5. 14	「郷土の画家 中村左洲を偲ぶ」二見町 (御塩浜、中村左州筆塚、花房志摩守供養碑)	中止
5. 6. 18	「米山新田を巡る」沼木、上野 (米山新田、正覚寺、赤井山)	92人
5. 9. 17	「小津安二郎青春の地を歩く」船江、河崎 (船江公園、船江神社、河崎の街並み)	98
5. 11. 5	「倭姫宮御鎮座100周年」楠部町 (倭姫宮、隠岡遺跡、尾部古墳)	89
6. 3. 3	「勢田川 五十鈴川河口探訪」一色町 (渡船場跡、台場跡、一色塩田跡)	86

伊勢市民ダンス&体操フェスティバル2023

開催日	開催場所	参加人数
5. 11. 23	三重県営サンアリーナ (サブアリーナ)	952人

10 インクルーシブスポーツ推進事業

福祉部局、伊勢市パラスポーツ協会、皇學館大学等の関係団体と連携し、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進を図った。

また、令和5年度から皇學館大学学修プログラムC L L活動を活用し、学生とともに広報いせ特集記事やケーブルテレビ特集番組の制作、インクルーシブスポーツイベントの企画・運営を行い、インクルーシブスポーツの普及促進を図った。

・主な事業

開催日	内容	参加人数
5. 4. 2	朝熊山麓公園リニューアルセレモニー（注1） インクルーシブスポーツ体験コーナー開設	—
5. 7. 30	第1回インクルーシブスポーツフェスタ ・講演会「私もみんなの役に立ちたい」 三重県電動車椅子サッカー協会代表 小倉健 氏 ・インクルーシブスポーツ体験	80人
5. 9. 10	ボッチャ交流大会	96 (30チーム)
5. 9. 23	手話応援デー（注2） ・ボッチャ体験コーナーの開設	—
5. 10. 15	第2回インクルーシブスポーツフェスタ（注3） ・インクルーシブスポーツ体験	173
6. 1. 21	第3回インクルーシブスポーツフェスタ ・講演会「自分の可能性を求めて」（注2） パラリンピックメダリスト 成田真由美 氏 ・インクルーシブスポーツ体験	123

（注1）都市整備部基盤整備課と連携

（注2）健康福祉部高齢・障がい福祉課と連携

（注3）皇學館大学学修プログラムC L L活動において、学生が企画・運営

※活動名：インクルーシブスポーツ推進プロジェクト 参加学生：20人

・インクルーシブスポーツ開催業務委託

インクルーシブスポーツの普及・促進を図るため、伊勢市スポーツ協会に所属する団体に開催を委託した。

開催日	内容	委託先
5. 11. 3	ウォーキングサッカー	伊勢サッカー協会
5. 11. 12	卓球バレー	伊勢市パラスポーツ協会

11 野口みずき杯2023中日三重お伊勢さんマラソンの開催

令和5年度に観光振興課からスポーツ課へ所管が変更となったお伊勢さんマラソンについて、三重県営サンアリーナを発着としたコースにて、伊勢市出身でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき氏を大会長に迎え、地域の活性化とスポーツ振興、そして健康づくりを目的とし開催した。大会当日は、野口みずき大会長がコースの一部を参加者と一緒に走るなど大会を大いに盛り上げた。

また、連続出場賞と大会期間中に会場内の物産展やおはらい町などで使用できる「お伊勢さんチケット」の配布を復活し、物産展・サンプリングブースの内容をコロナ禍以前の規模に戻した。

さらに、初の試みとしてハーフマラソン13km地点にエイドステーションを設置し、ランナーに焼きドーナツをふるまう等、大会の新たな魅力の発信を行った。

大会参加者の募集は、伊勢市民先行エントリーについては、令和5年8月2日に開始し、一般

エントリーについては、令和5年8月9日から開始した。ウォーク、バリアフリーラン、ランニング合わせて9,643人（バリアフリーラン伴走者64人を含む。）申し込みがあり、前回より1,380人の増加となった。

(1) 大会概要

ア 開催日：ウォーク、バリアフリーラン 令和5年12月2日（土）

ランニング 令和5年12月3日（日）

イ 種目：ウォーク 約6km バリアフリーラン 約1.8km

ランニング 5キロ・ハーフマラソン

ウ コース：三重県営サンアリーナを発着地点とし、主に伊勢二見鳥羽ラインを走行する特設コース。ハーフマラソンについては、国道23号を通り「おはらい町」や「野口みずき金メダルロード」の一部であるダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）付近も走行。

エ 定員：ウォーク 3,000人

バリアフリーラン 80人

（車いすを使用している人や視覚、知的、発達障がいのある人等を対象）

ランニング 5キロ：2,500人 ハーフマラソン：5,500人

オ 参加者数：ウォーク 2,517人

バリアフリーラン 62人

ランニング 5キロ：2,411人 ハーフマラソン：3,682人

(2) 参加申込者数（詳細）

<ランニング、ウォーク、バリアフリーランの合計（ランニング 日本陸連登録の部除く。）>

単位：人

年代別	ランニング				ウォーク		バリアフリーラン		計
	5キロ		ハーフマラソン		男	女	男	女	
	男	女	男	女					
10代未満	—	—	—	—	56	50	1	2	109
10代	6	8	7	6	51	63	15	4	160
20代	190	171	374	146	39	75	5	12	1,012
30代	225	165	532	135	51	101	10	1	1,220
40代	338	260	804	236	110	212	1	3	1,964
50代	355	334	871	342	204	474	4	3	2,587
60代	217	150	410	99	159	479	2	1	1,517
70代	101	35	77	7	161	235	1	0	617
80代以上	28	4	6	0	61	31	1	0	131
計	1,460	1,127	3,081	971	892	1,720	40	26	9,317
	2,587		4,052		2,612		66		
	6,639								

(注) ランニングの10代は大会当日18歳以上（高校生除く。）の人

<ランニング 日本陸連登録の部> 単位：人

年代別	5キロ		ハーフ		計
	男	女	男	女	
中高生	86	39	—	—	125
一般	—	—	109	28	137
計	125		137		262

(3) 都道府県別参加申込者数

<ランニング、ウォーク、バリアフリーランの合計>

単位：人

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	9	埼玉県	28	静岡県	66	鳥取県	5	佐賀県	0
青森県	1	千葉県	39	愛知県	1,806	島根県	2	長崎県	1
岩手県	2	東京都	105	三重県	6,883	岡山県	10	熊本県	2
宮城県	0	神奈川県	50	岐阜県	104	広島県	9	大分県	0
秋田県	1	山梨県	0	滋賀県	46	山口県	0	宮崎県	0
山形県	0	新潟県	3	京都府	44	香川県	4	鹿児島県	2
福島県	0	長野県	19	大阪府	155	徳島県	2	沖縄県	0
茨城県	4	富山県	3	兵庫県	61	愛媛県	3	海外	8
栃木県	7	石川県	24	奈良県	35	高知県	6	計	9,579
群馬県	1	福井県	7	和歌山県	12	福岡県	10	うち伊勢市	2,715

○ スポーツ施設関係

1 学校体育施設開放事業

地域におけるスポーツの普及振興を図り、また、地域住民がスポーツに親しみ、交流の場となることを目的に、各スポーツ団体に学校体育施設を開放した。

学校体育施設開放の状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

学校名	施設名	件数	延利用人数
倉田山中学校	体育館	470件	5,628人
厚生中学校	体育館	346	4,470
港中学校	体育館	379	3,969
城田中学校	体育館	263	3,639
	運動場	87	1,514
五十鈴中学校	体育館	600	6,824
二見中学校・二見浦小学校	体育館	397	2,984
小俣中学校	体育館	301	2,932
	運動場	54	1,176
	テニスコート	170	1,635
御菌中学校	体育館	370	5,535

伊勢宮川中学校	体育館	377 件	4,364 人
	運動場	35	544
桜浜中学校	体育館	623	8,681
進修小学校	体育館	204	2,575
	運動場	89	1,778
修道小学校	体育館	409	5,763
	運動場	109	2,839
有緝小学校	体育館	605	7,631
	運動場	52	1,025
早修小学校	体育館	333	4,576
	運動場	82	2,580
中島小学校	体育館	246	2,526
	運動場	105	2,000
明倫小学校	体育館	379	4,139
	運動場	100	1,173
厚生小学校	体育館	412	5,862
	運動場	110	2,424
佐八小学校	体育館	289	3,952
	運動場	49	1,810
宮山小学校	体育館	181	1,829
	運動場	71	1,323
浜郷小学校	体育館	293	5,293
	運動場	103	2,970
四郷小学校	体育館	308	3,645
	運動場	79	779
豊浜東小学校	体育館	133	1,217
	運動場	30	423
豊浜西小学校	体育館	344	3,128
北浜小学校	体育館	167	3,079
	運動場	52	1,861
東大淀小学校	体育館	168	1,152
城田小学校	体育館	262	2,905
	運動場	120	2,833
上野小学校	体育館	154	2,562
	運動場	7	110
小俣小学校	体育館	285	6,663
	運動場	101	4,956
明野小学校	体育館	456	7,369
	運動場	28	880
御菌小学校	体育館	886	14,736
	運動場	263	5,910
みなと小学校	体育館	605	9,579
	運動場	72	1,145
計		13,213	192,895

2 市営体育施設管理運営

スポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるよう、管理運営を行った。

市営体育施設使用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

施設名	利用日数	延利用人数
ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） メイングラウンド	292日	60,446人
ダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場） サブグラウンド	266	4,370
市営庭球場	264	27,912
市民武道館	245	3,075
北浜スポーツグラウンド	233	4,254
宮川スポーツグラウンド	274	25,430
朝熊山麓公園ソフトボール場	56	3,729
朝熊山麓公園グラウンドゴルフ場	23	299
伊勢フットボールヴィレッジ（Aピッチ）	251	29,288
伊勢フットボールヴィレッジ（Bピッチ）	158	19,260
伊勢フットボールヴィレッジ（Cピッチ）	328	44,290
伊勢フットボールヴィレッジ（Dピッチ）	312	40,732
伊勢フットボールヴィレッジ（Eピッチ）天然芝	62	6,010
二見体育館	99	1,589
二見グラウンド	231	8,260
二見グラウンドミーティングセンター	82	482
二見テニスコート	299	8,348
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） アリーナ	359	64,389
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 柔道場	356	12,746
三重電子スマイルアリーナ小俣（小俣総合体育館） 剣道場	328	11,240
大仏山公園スポーツセンター	305	32,477
大仏山公園スポーツセンター キャンプ場	29	1,494
小俣児童体育館	309	12,525
御菌B&G海洋センター体育館	335	15,098
計	—	437,743

3 学校跡運動施設の利用

統合に伴い閉校した学校の運動施設を、その利活用又は処分を決定するまでの間の暫定的な措置として、地域の住民等で構成される団体がスポーツ、レクリエーション等に使用する場合に開放した。

学校跡運動施設利用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

施設名	施設名	日数	延利用人数
今一色小学校跡運動施設	体育館	167件	2,239人
	運動場	74	2,081
計	—	241	4,320

4 市営プール開設事業

市民の健康増進、体力の向上及びレクリエーションの振興を図るため、市営プール（やすらぎ公園プール及び御菌B&G海洋センタープール）を開設した。なお、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和4年度に実施していた午前の部、午後の部それぞれ定員100人までの完全入替制などは行わず、コロナ禍前の通常運営を行った。また、やすらぎ公園プールでは4年ぶりにイベントを行った。

（1）やすらぎ公園プール

①開設状況

- ・開設期間 令和5年7月1日～8月31日
 ※7月3日～7日、10日～14日、8月13日～15日は休業日
 8月16日は台風の影響に伴う施設メンテナンスにより臨時休業
- ・営業日 48日

②入場者数

大人	小人	付添人	合計
4,530人	5,550人	457人	10,537人

③収入

入場料収入	ロッカー使用料	合計
3,614,750円	295,700円	3,910,450円

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
旭町地内	伊勢市やすらぎ公園プール運營業務委託	管理業務一式	円 14,000,800	5. 5.24	5. 9.15

（2）御菌B&G海洋センタープール

①開設状況

- ・開設期間 令和5年7月1日～8月27日
 ※7月3日～7日、10日～14日、17日、24日、31日、8月7日、13日～18日、21日～25日は休業日
- ・営業日 33日

②入場者数

市内中学生以下	市内高校生以上	市外	合計
2,010人	817人	97人	2,924人

※その他各種教室等入場者数は297人。入場者数総合計は3,221人。

③収入

・入場料収入 102,070円

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
御菌町上條地内	御菌B&G海洋センター水泳教室開催事業委託	水泳教室 15回	円 394,400	5. 5. 23	5. 8. 31
〃	御菌B&G海洋センタープール監視等業務委託	監視業務一式	6,114,510	5. 6. 2	5. 8. 27

5 学校体育施設整備

学校体育施設開放事業の実施に伴う安全で快適な学校体育施設の充実を図るため、各種工事を実施し、適切な運営を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
御菌町長屋地内	(注) 御菌小学校グラウンド照明改修工事	照明設備改修一式	円 2,938,100	5.11.10	6. 2. 22

(注) 営繕課施行

6 社会体育施設整備

安全で快適な社会体育施設の充実を図るため、浄化槽維持管理、エレベーター保守点検、夜間警備、運営管理、人工芝管理、除草、清掃及び備品点検等の業務委託及び各種工事を実施し、各施設の機能を維持、修復及び向上させ、適切な運営を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内地	(注) 朝熊山麓公園清掃(その1)業務委託	除草(草抜き)、草刈(芝及び花含む)、ゴミ清掃、樹木枝払い・処分一式	円 537,000 【契約額】 1,851,000 [維持課] 1,314,000 [スポーツ課] 537,000	5. 5. 2	5. 8. 1

朝熊町 地内	(注) 朝熊山麓公園清掃 (その3) 業務委託	除草、草刈、ゴミ清掃、 樹木枝払い・落葉回 収・処分一式	円 981,000 【契約額】 2,295,000 [維持課] 1,314,000 [スポーツ課] 981,000	5. 8. 25	6. 3. 15
野村町 地内	(注) 伊勢フットボールヴ イレッジ周辺清掃業 務委託	除草(草抜き)、草刈 (芝及び花を含む)、 ゴミ清掃、落葉回収、 処分一式	546,000	5. 8. 25	5. 12. 15
計	3件	—	2,064,000	—	—

(注) 維持課へ執行委任

※合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
小俣町新村 地内	(注1) 小俣総合体育館非常 放送設備等改修工事	非常放送設備等改修 一式	円 3,778,500	5. 7. 7	5. 12. 1
朝熊町 地内	(注2) 伊勢フットボールヴ イレッジEピッチ外 柵修繕工事	フェンス設置 100m 門扉設置 1か所	4,979,700	5. 10. 6	5. 12. 22
小俣町新村 地内	(注3) 小俣総合体育館入口 不陸解消工事	舗装工 537㎡ 支障木伐採 4本	12,467,400	5. 11. 6	6. 1. 24
小俣町明野 地内	(注1) 小俣児童体育館トイ レ改修工事	トイレ改修一式	2,222,000	5. 11. 24	6. 1. 22
計	4件	—	23,447,600	—	—

(注1) 営繕課施行

(注2) 下水道建設課施行

(注3) 基盤整備課施行

7 ネーミングライツ

財源確保のため、ネーミングライツ制度を導入している。なお、令和4年度から小俣総合体育館についてもネーミングライツ制度を導入した。

(1) 伊勢市倉田山公園野球場

【愛 称】 ダイムスタジアム伊勢

【命名権者】 株式会社ダイム

【命名権料】 年額3,000,401円(税込)

【契約期間】 平成29年4月1日～令和9年3月31日(10年間)

(2) 小俣総合体育館

【愛称】 三重電子スマイルアリーナ小俣

【命名権者】 三重電子株式会社

【命名権料】 年額1,210,000円(税込)

【契約期間】 令和5年1月1日～令和9年12月31日(5年間)

8 指定管理者管理施設

施設の設置目的に従い、施設の効用を最大限に発揮させ、スポーツ振興の増進を図るため、指定管理者制度を導入し、管理運営を行った。特に、伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンターについては、隣接している両施設を一括して管理運営を行った。

(1) 伊勢市北浜スポーツグラウンド

【導入開始】 平成25年4月1日

【指定管理者】 村松町会

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)

(2) 伊勢市小俣児童体育館

【導入開始】 平成29年4月1日

【指定管理者】 明野第四自治区

【指定期間】 令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年間)

(3) 伊勢市小俣総合体育館及び伊勢市大仏山公園スポーツセンター

【導入開始】 平成30年4月1日

【指定管理者】 株式会社 スコルチャ三重

【指定期間】 令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)

9 伊勢市スポーツ施設長寿命化計画策定業務

伊勢市が所有するスポーツ施設について、長寿命化の観点から中長期的な財政負担の低減及び平準化を図り、今後の維持管理・更新等を着実に推進するために、各施設の老朽化状況の把握を行い、改築・長寿命化・修繕の優先順位等を勘案した計画の策定業務を委託した。

(1) スケジュール

7月～9月 計画案の策定(第1段階)

- ・施設の現状情報の収集・整理
- ・施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討(1次評価)

10月～12月 計画案の策定(第2段階)

- ・施設の環境に関する情報の収集・整理(施設利用者及びWebアンケートの実施)
- ・スポーツ施設の基本方針に関する検討(2次評価)

1月～2月 個別施設計画の策定

3月 伊勢市スポーツ推進審議会へ報告

策定業務終了

教 育 研 究 所

○ 研究関係

教育に関する今日的、将来的な課題について、教育研究所と学校現場が連携を図りながら、子どもたちの育成に資する研究を進めた。

1 教育研究プロジェクト

研究協力校	研 究 課 題
御菌小学校	歴史教材『ふるさと伊勢』の活用に係る実践研究 「地域を見つめ、考え続ける社会科の授業づくり」 ～小単元 山田奉行所～
上野小学校	今日的課題に係る実践研究 「ICT機器及び学習支援ソフト、ドリルソフトの効果的な活用を探る」
明野幼稚園	幼稚園教育に係る実践研究 「伝え合い 学び合い 育ち合う」 ～遊びを通して共同性を育む～

2 資料作成研究

(1) 社会科副読本資料作成研究会

研究目的：社会科副読本『わたしたちの伊勢市』の編集

(2) 歴史資料作成研究会

研究目的：歴史教材『ふるさと伊勢』の活用

3 情報教育研究

情報教育研究会

研究目的：コンピュータの学習利用に関する総合的な研究

(パソコン・タブレット端末等ICT機器の授業活用法研究)

○ 研修関係

教職員研修講座等を開催し、教職員の資質向上を図った。

1 教職員研修講座

(1) 教職員研修講座

開催日	内 容	講 師	受講者数 【※満足度】
5月27日（土） 14:00～16:00	「学びの基盤づくりとしての幼児教育」 *伊勢市立幼稚園協会との連携講座	岡野 昇 (三重大学教育学部 教授)	46人 【93.80%】

6月28日（火） 15:30～16:30	第1回 「これで安心！学校事務ガイド」 *第1回若手教職員研修を兼ねる	伊勢市小中学校 事務の共同実施協議会	30人 【96.15%】
7月27日（木） 14:00～16:00	「iOSアプリを活用した授業実践について」	山崎 駆 (Apple) 教育研究所情報教育係	25人 【100%】
7月28日（金） 14:00～16:30	特別支援教育【県と連携】 「こどものしあわせのための特別支援教育 ～最新の知見をもとに～」 *特別支援コーディネーター及び学習支援員・幼稚園支援員研修会を兼ねる	伊藤 二三郎 (いとう発達・心理相談室 公認心理師・臨床発達心理士)	110人 【98.90%】
7月31日（月） 9:30～12:00	保護者の理解と対応【県と連携】 「難くなる保護者対応トラブルを考える ～学校としてすべきこと、してはいけないこと～」	小野田 正利 (大阪大学名誉教授 教育学博士)	81人 【100%】
7月31日（月） 14:00～16:30	特別支援教育講演会 【県と連携】 「対応の難しい感情爆発の障害の理解と対応～教育の構造化を活用する～」 *特別支援コーディネーター及び学習支援員・幼稚園支援員研修会を兼ねる	松浦 直己 (三重大学教育学部 教授)	199人 【98.80%】
8月1日（火） 9:30～12:00	学校経営（危機対応） 「自律する子を育てるための支援のあり方～保護者支援・危機対応～」	工藤 勇一 (横浜創英中学 ・高等学理事 校長)	104人 【100%】
8月4日（金） 14:00～16:30	子ども理解【県と連携】 「子どもの心を開く聞き方術（コーチング基礎編）」 *「不登校対策子ども未来サポート講演会」を兼ねる	羽田野 富喜子 (子育てアドバイザー メンタルコーチ)	92人 【98.50%】
8月7日（月） 9:00～12:00	授業づくり（国語） 「論理的に思考する『考える国語』の授業づくり ～説明文教材の指導～」	白石 範孝 (明星大学 常勤教授)	72人 【100%】
8月8日（火） 10:00～12:00	「ロイロノートの操作及び活用について」	鍵本 優紀 (株式会社LoiLo 教育ICTコンサルタント) 教育研究所情報教育係	50人 【100%】
8月8日（火） 14:00～16:30	カウンセリング力向上研修 「児童生徒の問題のアセスメント」 ※第2ステージ（伸長期） ライフステージで4段階に分けて実施	瀬戸 美奈子 (三重大学 教授)	22人 【100%】

8月18日（金） 9:15～11:45	授業改革① （アクティブ・ラーニング） 【県と連携】 「子どもたちの学ぶ力を伸ばす 授業 をする教師の意識改革とスキルアッ プを目指す！～『学ぶ』を考える～」 *第2回若手教職員研修を兼ねる	樋栄 ひかる （エデュティナー Ena Communication Inc. 代表）	52人 【100%】
8月21日（月） 9:15～11:45	授業改革② （アクティブ・ラーニング） 【県と連携】 「子どもたちの学ぶ力を伸ばす 授業 をする教師の意識改革とスキルアッ プを目指す！～『学ぶ』を探究す～」 *第3回若手教職員研修を兼ねる	樋栄 ひかる （エデュティナー Ena Communication Inc. 代表）	66人 【100%】
8月21日（月） 14:00～16:00	「プログラミング教材の活用」	情報教育研究会 教育研究所情報教育係	8人 【100%】
8月23日（水） 14:00～16:30	カウンセリング力向上研修 「援助チームを育てるための ケースマネジメント」 *第4ステージ（発展期） ライフステージで4段階に分けて実施	瀬戸 美奈子 （三重大学 教授）	19人 【100%】
8月25日（金） 14:00～16:00	「ICTを効果的に活用した授業づくり」 *第4回若手教職員研修と兼ねる *GIGAプロジェクト研修を兼ねる	益川 弘如 （聖心女子大学 現代教養 学部教育学科 教授）	49人 【100%】

※満足度…研修会後のアンケートで、満足及びやや満足と答えた人の割合

○ 子ども輝き生き生き総合推進事業

- 1 児童生徒が安心して過ごすことができる学校づくりをめざして、「いじめ」などの未然防止・早期発見と「不登校」の対応・支援のため「子どもの人間関係づくり」についての研究を行った。
- 2 全ての小中学校に非常勤講師を派遣し、研究体制の強化及びカウンセリング体制の強化を図った。
- 3 全ての小中学校において、児童生徒の状況に応じた指導を行うため、よりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケート（WEBQU）を実施（年2回）。分析結果を活用し、学級集団の状況や個人の対人関係力の把握を行った。

○ 不登校対策子ども未来サポート総合推進事業

「子ども輝き生き生き総合推進事業」、「カウンセリングルーム総合推進事業」等関連する他の事業と連携し、児童生徒の社会的自立を目指して、不登校の対応・支援に総合的に取り組んだ。

1 伊勢市教育支援センターNEST活動状況

教育支援センターNESTでは、不登校児童生徒の社会的自立を目指した総合的な支援を行った。

NEST教室を活動拠点に、相談・支援・指導を行った。また、土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時まで、教育支援センターNEST指導員等（5人）が教職員及び保護者からの電話又は面談による相談に応じた。

【教育支援センターNEST通級人数】

小学生6人・中学生19人

【教育支援センターNEST相談件数（延べ件数）】

電話	来所	学校訪問	計
495	137	269	901

2 不登校対策子ども未来サポート研修会

不登校や不登校傾向の児童生徒への具体的な支援の方法について、学ぶ研修会（2回）を実施し、スクールソーシャルワーカーや大学教授より専門的な指導・助言を受け、教職員の資質向上を図った。

3 不登校・登校しぶりをともに語り考える保護者の会（ホッとLine NEST 年2回）

児童生徒と直接関わる立場の教職員や保護者が、不登校・登校しぶりについて、大学教授の専門的な助言を受けるとともに、保護者同士が互いの思いを語る機会の場を提供した。

4 学生ボランティア

学生ボランティア（メンタルフレンド）による、教育支援センターNESTでの日々の活動や各種体験活動の支援を行った。

5 スポーツ体験学習の実施（ふれあい広場）

毎週月曜日、御菌B&G海洋センター体育館で、教育支援センターNEST通級児童生徒を対象に、ドッジボールやバドミントン、野球などのスポーツ体験を行った。

6 不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』の配布

不登校はどの子どもにも起こりうるということを前提に、子どもとの接し方や学校との連携、不登校に関する新しい法律等の内容を具体的に記載した「不登校の理解と対応のための保護者用資料集『ハーモニーハート』」を新入学児童生徒の保護者に配布した。

7 相談員の配置

教職経験のある教育コンサルタント2人を配置し、学校からの相談に応じるとともに、必要に応じて保護者との面接を行うなど連携を図ることで、児童生徒、保護者及び学校の支援体制を充実させた。

8 不登校対策子ども未来サポート会議

市内の不登校児童生徒の状況を踏まえ、問題解決に必要な手立て等を検討するために、学校、学校教育課、教育研究所の代表が集まって会議を行った。

9 不登校対策子ども未来サポート講演会

夏季研修講座で、教職員や保護者を対象に、「子ども理解」についての講座を開催し、共に学ぶ研修会を開催した。

○ カウンセリングルーム総合推進事業

1 教育相談

土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時まで、電話又は面談による教育相談を実施し、教育コンサルタント3人が教育相談に応じた。

【電話相談等内容別件数】

不登校	進路	学習	いじめ	友人関係	非行	クラブ	性	特別支援	神経症・心身症	子育て・しつけ	生活一般	その他	計
65	0	13	2	7	0	0	0	40	6	13	9	146	301

※主訴で集計

2 学校訪問

教育コンサルタントが小中学校を訪問し、各学校の状況の把握に努め、学校からの要請に応じて相談・指導・助言を行った。また、学校が行う生徒指導において、指導助言や情報提供を行うことで、各学校における不登校やいじめ等の問題への早期発見・早期対応を図った。

【「スマイルいせ」コンサルタント学校訪問件数】

計画訪問	要請訪問	計
13	5	18

要請訪問の主な内容
・学級支援、特別支援等

3 緊急支援員の派遣

各学校の様子及び要請に応じて緊急支援員を配置し、状況に応じた緊急的な措置を行うことにより、校内のさまざまな問題への早期対応を図った。

【緊急支援員派遣延べ日数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	10	60	63	40	0	57	61	53	46	47	54	42	533

4 カウンセリング

土・日・祝日を除き、毎日午前8時30分から午後5時まで、悩みをもつ保護者やその家族、児童生徒を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを行った。

また、親子並行面接ができるよう、毎週月・水曜日の午後（隔週）・金曜日の午後は臨床心理士を2人体制とし、相談者の不安を解消するとともに、教育支援センターNESTへの通級や社会的自立に向けた総合的な支援ができるように努めた（相談件数：1,461件）。

5 パンフレット及び電話相談カードの配布

4月に電話相談カードを中学1年生に、5月にパンフレットを市内小中学校の全児童生徒、教職員等に配布し、教育研究所の活動内容や相談窓口の周知を図った。

○ 情報教育

1 情報教育の推進

GIGAスクール構想開始4年目に入り「実践の充実・定着期」として、整備した1人1台タブレット端末の基礎的な活用からより効果的な授業での活用へと進めた。学習支援ソフトやドリル学習ソフトの活用促進のため、各校でICT活用力向上研修を実施したり、ICTスキルアップ研修講座を実施したりした。

また、タブレット端末の持ち帰り学習や、災害・感染症等による臨時休業時の子どもたちの学びの保障のために、インターネット環境がない家庭にモバイルWi-Fiルータを貸し出した。

2 学校への支援

・ICTアドバイザー

情報モラル教育、プログラミング教育、HP運用等のICT活用に関して、市内各校に助言や支援を行った。

・ICT支援員

児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるため、ICT支援員を派遣し、授業・校務でのICT活用の活性化を図った。

3 情報モラル教育

児童生徒及び保護者向けにインターネット掲示板やコミュニケーションツールによるトラブルを防ぐため、危険性やトラブルに対する予防的措置を目的とした情報モラル講座（48回）を実施した。また、ICT活用力向上研修のなかで教職員向けの情報モラル研修も実施した。

4 教育用コンピュータの整備

- ・校務用PCのWindows11機への入れ替え（13校）

○ 情報提供

1 情報提供及び教育資料の整備

市内小中学校の研究紀要データや、国内各研究機関の研究資料の収集等、教育図書、研究資料を整備・充実するとともに、その活用を図った。

2 研究物の発刊及び広報活動

- (1)「伊勢市教育研究所要覧」
- (2)「しょほう」第32号 第33号（3月発行）
- (3)「たより」1～9号